

社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会 事業報告

実施期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

事業報告 もくじ

1	地域福祉事業	P. 1
2	ボランティア活動センター	P. 2
3	生活困窮者自立相談支援	P. 3
4	障がい者相談支援	P. 3
5	権利擁護支援	P. 4
6	介護保険事業	P. 4～7
7	法人運営	P. 7
8	共同募金運動	P. 8
○	法人全体の収入と支出（グラフ）	
	収益に係る事業の収支（グラフ）	P. 9
○	資料編	P. 10
	地域福祉事業	P. 10～P. 21
	ボランティア活動センター	P. 21～P. 31
	生活困窮者自立相談支援	P. 31～P. 35
	障がい者相談支援	P. 35～P. 39
	権利擁護事業	P. 39～P. 43
	介護保険事業	P. 43～P. 49
	法人運営	P. 50～P. 60
	共同募金運動	P. 61

1 地域福祉事業

地域福祉係では、コミュニティソーシャルワーカーを中心に、地区福祉委員会活動やその他地域行事への参加等を通して、地域共生社会実現に向けた地域づくりに力を入れて取り組んできました。地域福祉の専門性が発揮できるよう職員も積極的に研修に参加し、学んだことを地域福祉実践につながるよう意識を持って取り組みました。

今年度は、地域福祉の担い手である福祉推進委員の一斉改選という節目の年でもありました。



コミュニティソーシャルワーカーとして、地域住民や地域包括支援センター職員、コープこうべと一緒に、移動店舗の候補地を探して歩きました。

福祉推進委員が地域での福祉活動に、より高い関心を持ち、積極的な取組ができるよう新任研修、全体研修の内容が充実するよう工夫して取り組みました。

「災害時要配慮者名簿」の普及や活用が進むよう継続的に働きかけてきましたが、今年度、芦屋市防災安全課からの依頼を受け、『防災と福祉連携モデル事業』に参加し、地域住民とともに高齢者等の個別避難計画作成と当事者主体の避難訓練を実施したことで、地域住民の意識向上につながりました。

地域での活動を支援するために、コープこうべとも協働しながら、フードドライブで市民から寄せられた食材を地域の活動者へ「食

料の無償提供会」を実施し、その中で活動者同士の情報交換、交流が深まるよう働きかけを工夫しました。また、「コープ移動店舗」を一部の地域で調整し、住民と話し合いながら実現するよう働きかけました。

『地域発信型ネットワーク』では、全市レベルにおける関係機関の実務者から構成される「地域ケアシステム検討委員会」において、生活困窮者自立相談支援を軸に置いた多機関協働による包括的相談支援体制づくりに向け、支援チーム会議の試行的実践に取り組みました。断らない相談支援や複合多問題事例のスムーズな支援ができるよう今後も継続的に取り組み、検証していきます。また、「小地域福祉ブロック会議」では、課題抽出や課題整理の協議だけでなく、課題解決を前進させるために、防災に関心の高い地域で「“逃げ地図”を作るワークショップ」を実施し、地域住民が学ぶ要素も取り入れるなどの工夫をしました。



精道地区小地域福祉ブロック会議の様子。

「逃げ地図」を作るワークショップに、地域の住民も積極的に取り組みました。

2 ボランティア活動センター

『ボランティア活動センター』では、ボランティアをしたい、ボランティアをして欲しいというニーズとのマッチング業務を中心として、個人ボランティア登録や登録ボランティアグループへの場所の提供（貸室）や助成金申請等の活動支援に取り組みました。

「福祉学習」では、対象を小中学校だけでなく、就学前の保育所、幼稚園に拡大して実施しました。将来、福祉へ関心を持ち、積極的に福祉活動へ参加してもらうことを目的としていますが、子どもを通じてその親世代にも関心を持ってもらえるよう働きかけを継続していきます。

『認知症サポーター養成講座』では、キッズスクエア（芦屋市教育委員会）と協働で小学生を対象として実施しました。また、芦屋市収集事業課職員向けにもごみ収集時の認知症の方への対応について理解を深めるために養成講座を実施するなど、芦屋市各課と協働することで新たな実施先が増えてきています。これからも様々な分野、様々な対象者に向けて実施ができるよう工夫していきます。

『ひとり役活動推進事業』では、ワーカー登録者数141名、受入機関26施設は昨年度とほぼ同数でした。昨年度の延べ活動回数が3,000件で、今年度は2,800件となっていますが、減少の理由は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月の1か月間活動休止の対応をとったことによるものであり、平均して活動回数は定着しています。また、活動内容の周知や活動者と受入機関の情報交換を目的として“ワーカー通信”を発行するなど工夫しました。

『地域福祉アクションプログラム推進事業』では、情報発信をキーワードに高校生や大学生など若者の力を借りて、「高齢者向けのスマホ講座」を開催したことにより、情報発信だけでなく多世代交流の場を意識することで、高齢者と若者世代が活動に参加し交流できたことは大きな成果でした。

「当事者組織への支援」では、福祉センターで毎月1回定例会を開催している「認知症の人をささえる家族の会“あじさいの会”」が25周年を迎えられました。記念式典では、芦屋市立病院医師片岡政子先生をお招きして、「自分らしく生き続けるために～家族や自分のためにきっかけをつくってみませんか～」と題して、講演会が開催されました。これからも社協として、“あじさいの会”の活動を応援していきます。



市内小中学校での車いす体験の様子。今年度は、保育所や幼稚園でも実施しました。



“あじさいの会”25周年記念式典
講演会の様子

3 相談支援

『総合相談』では、市民からの困りごとを広く受け止め、必要な支援へとつなぐ入口となる相談件数は昨年と比較し増加しています。2月から3月にかけて新型コロナウイルスの影響による収入減少や就労に関する相談が増えたためと考えられます。また、総合相談窓口連絡会を開催し、相談員の資質向上を図り、より適切に早期に支援につなぐ意識と窓口での対応力向上に努めました。

『生活困窮者自立相談支援事業』では、自治体コンサルタントサービスを受け初期相談対応時のアセスメント方法とプラン作成についてアドバイスを受けました。また、全ケースについてレビューを行い、支援停滞しているケースについて支援方針や終結判断の基準を整理しました。相談内容の多くは家計に関するものが多く、支出を見直すために家計表を作成する支援から自己破産や転居を伴う見直しが必要な場合など幅広い支援を実施しました。また、社会的孤立者支援として、ひきこもりの子どもを持つ親の会「ひだまりの会～子どもを思いやる親の会～」を立ち上げ、親同士の情報交換や思いを共有する機会を設けました。

また、地域ケアシステム検討委員会での事例検討を通して、断らない相談支援体制の構築と多機関ネットワークの充実に取り組みました。

『生活福祉資金貸付事業』では、従来同様、教育支援資金についての相談が多い上に、学費納入期限間際の相談が多かったため対応に苦慮する場面がありました。ひとり親家庭などで就労状況に不安がある場合は早期に相談するよう周知する必要があります。また、2月から3月にかけて新型コロナウイルスの影響による収入減少に対応する緊急小口資金特例貸付及び総合支援資金特例貸付が始まり、社協職員全体での相談体制を整え、市民からの相談に対応しました。

4 障がい相談支援

芦屋ハートフル福祉公社と統合したことにより、委託相談（『障がい者基幹相談支援センター』、『障がい者相談支援事業』）、計画相談（『指定特定・障害児相談支援事業』）ともに支援回数が倍増しました。

委託相談では、市内計画相談員（相談支援専門員）の横のネットワークづくりや情報交換、育成のため、市内相談支援専門員の連絡会（全8回）や芦屋版計画相談マニュアルの作成、更新を芦屋市障害福祉課とともに実施しました。

また、障がい福祉サービス事業所連絡会で「まるっと説明会」を企画実施し、138人が来場しました。さらに、権利擁護支援センターと協働し、「地区福祉委員会」（浜風地区・潮見地区）において「発達障がい研修」の実施や入職5年未満の市内障がい福祉サービス職員を対象とした「障がい者虐待防止研修」を実施しました。

なお、計画相談では、『防災と福祉連携モデル事業』に参加し、当事者、家族、地域住民、芦屋市防災安全課、地域福祉係（CSW）等と災害時に備えた支援プランの作成や避難訓練を実施しました。

5 権利擁護支援

『権利擁護支援センター事業』では、継続的な周知啓発や多機関との連携による支援に重点的に取り組んだことにより、専門相談等の相談件数及び虐待対応等の支援件数が増加しました。なかでも、成年後見制度に関する相談件数が多かったため、毎週火曜日に実施している弁護士・司法書士による専門相談の予約件数も増加しました。

令和元年度は新たに、「終活支援事業“ろーすくーるAshiya”」を企画し、開催しました。最高齢90歳の方の参加もあり、16名の方が積極的に「自分の最後の迎え方」について学びました。

昨年度試行的に取り組んだ「障がい者福祉施設等相談員派遣事業」は、定期的に相談員が訪問する活動を本格的に実施しました。

「権利擁護支援者養成研修」受講修了生で構成される「人材バンク」の登録者数も増えており、今後はさらなる活動場面を模索する必要があります。

6 介護保険事業

芦屋ハートフル福祉公社が従来担ってきた市内の高齢者等への介護・福祉サービスの提供は、市民の生活を護る「セーフティーネット」としての役割を果たしてきましたが、引き続き取り組んでいきます。また、本会の目的である地域福祉の推進についても介護・福祉サービスを通して貢献していきます。

令和元年度における事業活動（介護福祉サービス事業拠点及び地域包括支援センター事業拠点）の収支は、収入341,977千円に対し、支出345,993千円で差し引き4,016千円の赤字となりました。昨年度に比べ、収入は1,061千円の増加、支出は15,264千円の減少となり、16,325千円の赤字幅の減少となりました。



県社協が主催する介護・福祉サービス経営検討会議に参画し、介護保険事業の経営戦略について学びました。

『訪問介護事業』では、市の要請により新たに『認知症高齢者見守り支援事業』を受託し、受託事業所不足の解消に貢献しました。

収支改善の取り組みとして、県社協主催『地域福祉・介護サービス事業経営調査研究事業』に参加し、県内他市社協等の訪問介護事業所の視察を実施し、他事業所と比較することで課題等が明らかになりました。令和2年度も引き続き収支改善に努めます。

令和2年度は、ヘルパーの専門性向上を目的とし、職員研修の実施及び外部研修への参加を推進していきます。



PTOTST会として、J:COMの取材を受けました。

『訪問看護事業』では、嘱託職員2名を採用しました。その結果、収益率を落とすことなく、下記の新たな取り組みを実施することができました。

市の新規事業として『芦屋市立こども園・保育所及び学校園の医療的ケアに係る訪問看護事業』を受託しました。なお当該事業は市内で本会のみが受託しています。

地域貢献の取り組みとして、従来実施している看護学生の実習生の受け入れに加え、地域の病院・兵庫県看護協会・神戸大学医学部からの実習生の受け入れ、権利擁護支援センターやケアマネ友の会主催のセミナーで講師を務めました。

「芦屋PTOTST連絡会」の立ち上げに携わり、本会職員が連絡会会長として運営と活動に尽力しています。また、ICTを導入することで業務効の率化を推進しました。令和2年度は医療機関とのICT連携にも取り組んでいきます。

『居宅介護支援事業』では、医療と介護の連携を強化し、末期の悪性腫瘍の利用者に対するケアマネジメントに積極的に取り組んだ結果、ターミナルケアマネジメント連携加算と退院時連携加算を目標以上に算定することができました。その結果、令和2年度に特定事業所加算Ⅳを算定することが可能となりました。

地域や事業所における人材育成と地域包括システムの構築に向けた地域づくりの役割として、「芦屋市介護サービス事業者連絡会」や「芦屋市ケアマネジャー友の会（一般財団法人兵庫県介護支援専門員協会芦屋支部）」の役員・委員を担いました。

また、9名の介護支援専門員のうち5名が主任介護支援専門員の資格を持っており、令和2年度に1名が新たに主任介護支援専門員の資格を取得できるよう支援を行います。

『通所介護事業』では、市の要請により虐待等による支援困難ケースの受け入れを行ないました。また、医療依存度が高く他事業所での受け入れが難しい利用者や視覚障害の利用者、精神疾患のある利用者の受け入れも行いました。

従来より実施している資格取得支援の成果として、令和元年度からサービス提供体制強化加算を算定することができました。また、令和2年度には、6名いる介護スタッフ全員が介護福祉士の資格を保有することとなり、引き続き支援困難ケースの積極的な受け入れに努めていきます。



日頃からケアマネジャー同士で事例検討会を行っています。



ボランティアによるクリスマス演奏の様子。
利用者さんが毎年楽しみにしています。

平成30年度に比べ、上半期において新規利用者数が少なかったことが延べ利用者数の減少に繋がり、下半期においては新型コロナウイルス感染症による利用自粛等の影響も重なり減収となりました。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが懸念されますが、情勢を見ながら「市立三条デイサービスセンター」の良さや強みを地域の方々やケアマネジャーに周知する活動を行っていきます。

『地域包括支援センター』の三職種業務では、月間平均33.5人の新規個別相談に対応しながら年間累計4,545回の相談対応を行いました。三職種の専門性を活かして対応方針の協議・検討を行い、対象者の実態把握と信頼関係を築くために、特に訪問面接に力を入れて対応しました。また、個別支援のみでなく支援ネットワーク強化を目的として「民生児童委員・居宅介護支援事業所・高齢者生活支援センター交流会」を9月25日に開催しました。企画立案から交流会当日までのプロセスを民生委員と協働することで、三者の役割理解が進み、日常的な連携の基盤づくりが促進されました。介護予防事業では職員が企画し参加者を募る介護予防教室以外に、より住民が自主性を発揮する企画運営を行う自主グループの立ち上げと継続支援を行うことができました。

『指定介護予防支援（ケアマネジャー等によるケアマネジメント）』では、毎月平均15件以上の新規ケースに対応しながら月間約360件の介護予防支援を担当しました。三職種と共同して業務標準化や職員間の業務相互チェックのしくみを確立しました。今年度、実施した「自立支援型地域ケア個別会議」や「センター内事例検討会」は今後も継続的に参加することで職員が研鑽を重ね、より自立支援に資するケアマネジメントが提供できることを目指します。

基幹的業務では、平成30年度から4センターと継続協議してデザインした「自立支援型地域ケア個別会議」は、延べ3回のブラッシュアップを経て毎月2事例の検討を定例開催する形態で確立しました。さらに12月には、この「自立支援型地域ケア個別会議」をはじめ、他のさまざまな会議や相談対応事例等から地域の普遍的・共通的課題を抽出し、課題解決への取組へと展開するため「地域ケアミーティング（地域ケア推進会議）」を実施しました。この一連のプロセスにより、各センターの職員に「個別課題を地域課題へ展開する」という意識が定着しつつあります。

また、「地域に必要な人材を、地域で育む」ことをコンセプトに「芦屋市ケアマネジャー友の会」・「主任ケアマネジャーの会」の協力を得て、今年度より新たに「芦屋市ケアマネジメント事例検討会」を5月から隔月開催しています。外部の講師に依存せず、検討事例の選定や検討会のファシリテートを担うスタイルで実施しています。今後はそれぞれにデザインし運用してきた会議や研修等のプログラムを統合し、より効果的で効率的なシステムへと発展させていきます。

『生活支援体制整備事業（地域支え合い推進員）』では、昨年度発行した地域における住民の自主活動の情報をまとめた「つどい場ガイド」の内容をさらに充実させ、2019年度版を発行しました。発行部数も大幅に増刷し、より多くの地域住民にPRすることで「つどい場への参加者の増加」と「住民主体の福祉活動の担い手の増加」を目指しました。

また、小地域福祉活動を把握するためのアセスメントシートの開発・活用をとおして協議体についての理解を深めることができました。

あしや保健福祉フェアにおける「アクションアワード」へ参画し、支え合い推進員のPRに努めました。

「知ろう！話そう！つながろう！」と題した地域活動者と専門職の交流会を開催などの活動を通して、住民の自主活動について市民、関係者に啓発を行いました。これらの活動をとおして、地域の活動者と生活支援コーディネーターの良い関係性を作ることができているので、今後の小地域福祉活動の充実につなげていきます。

7 法人運営

芦屋ハートフル福祉公社と統合し、法人運営では当初福祉センターと精道分庁舎でそれぞれの事業スタイルを踏襲しながらのスタートとなりました。その中で、職員の人事・労務管理等に相違も見られたため、担当職員間ですり合わせをしながら少しずつ調整してきました。

障がい相談部門では、社協、公社にあった基幹相談及び一般相談並びに計画相談が分かれたままのスタートでありましたが上半期で調整ができ、10月1日からは組織及び業務の一本化ができました。

総務部門では、下半期に調整を行い、職員給与支払いを一本化や休暇取得等の人事・労務関係の業務整理により、総務系の組織及び業務の一本化ができました。

また、職員会議等も社協、公社であったものを統合し、年度末には係長会議の一本化ができ、指示命令系統が明確な体制を構築することができました。

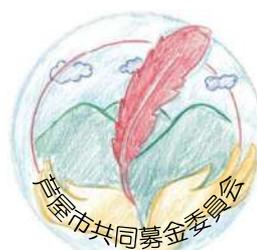
職員からは、介護保険事業は目的や支援内容が明確で分かりやすいため統合しても今までとやってきたことと変わらないという声や、社協が担う地域福祉推進に関わる様々な事業が理念や目指すべき方向性を共有した上で業務に反映させたいという声が上がりました。そのため、法人理念や目指す職員像の検討及びそれに対しての研修体系等を構築するための部会を設置しました。

8 共同募金運動

赤い羽根共同募金は、共同募金委員会が毎年10月1日～12月31日まで歳末たすけあい運動も含めて3か月間、地域での街頭募金、個別募金等に本会理事、職員が協力して募金活動に取り組みました。また、共同募金活動の缶バッジデザインを市内中学生から募集しました。応募作品は、共同募金委員や本会理事、職員の投票で選ばれたものを缶バッジにして、募金活動の啓発グッズとしてイベント等で配布しました。共同募金委員会規程を見直し、「福祉推進委員」を3号委員としたことで、委員定数が450名となり地域から多くの方々の協力を得て、募金活動が活発になるよう体制を整えました。

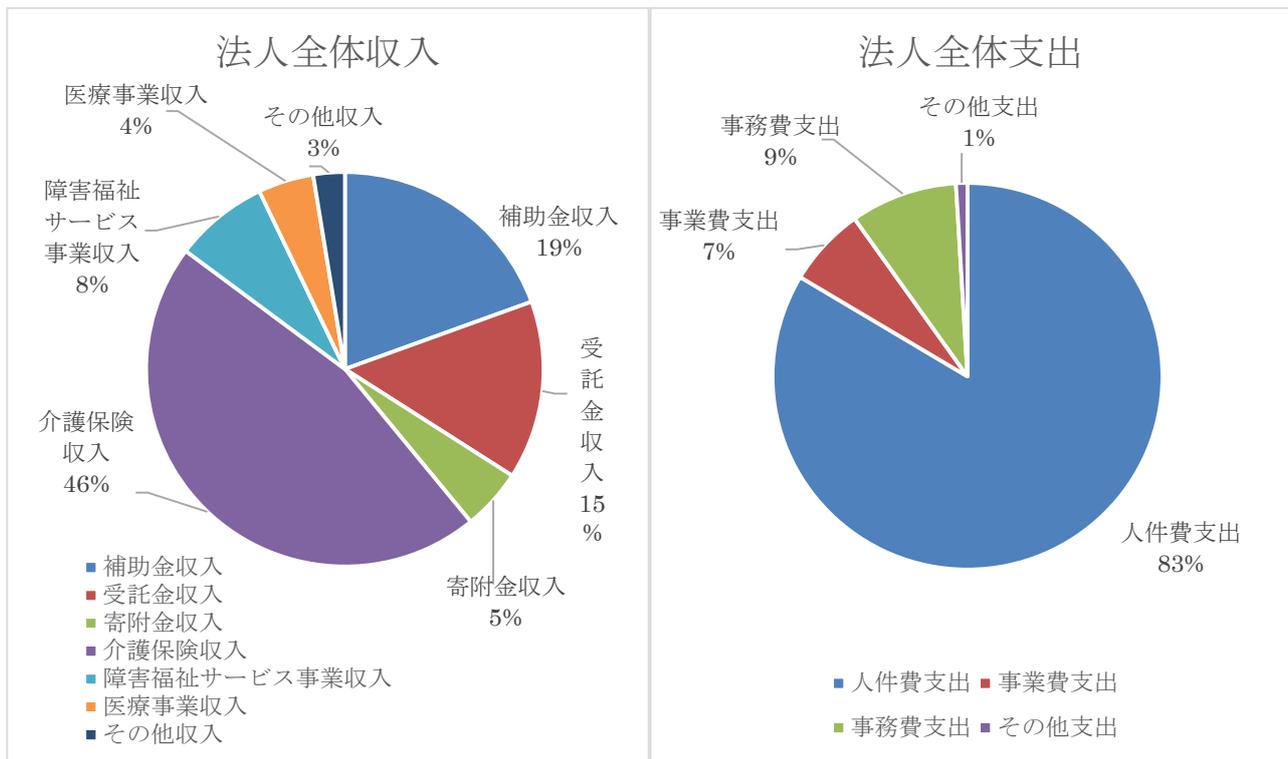


ボーイスカウト・ガールスカウトのみなさんがJR芦屋駅前での共同募金活動に協力してくださいました。

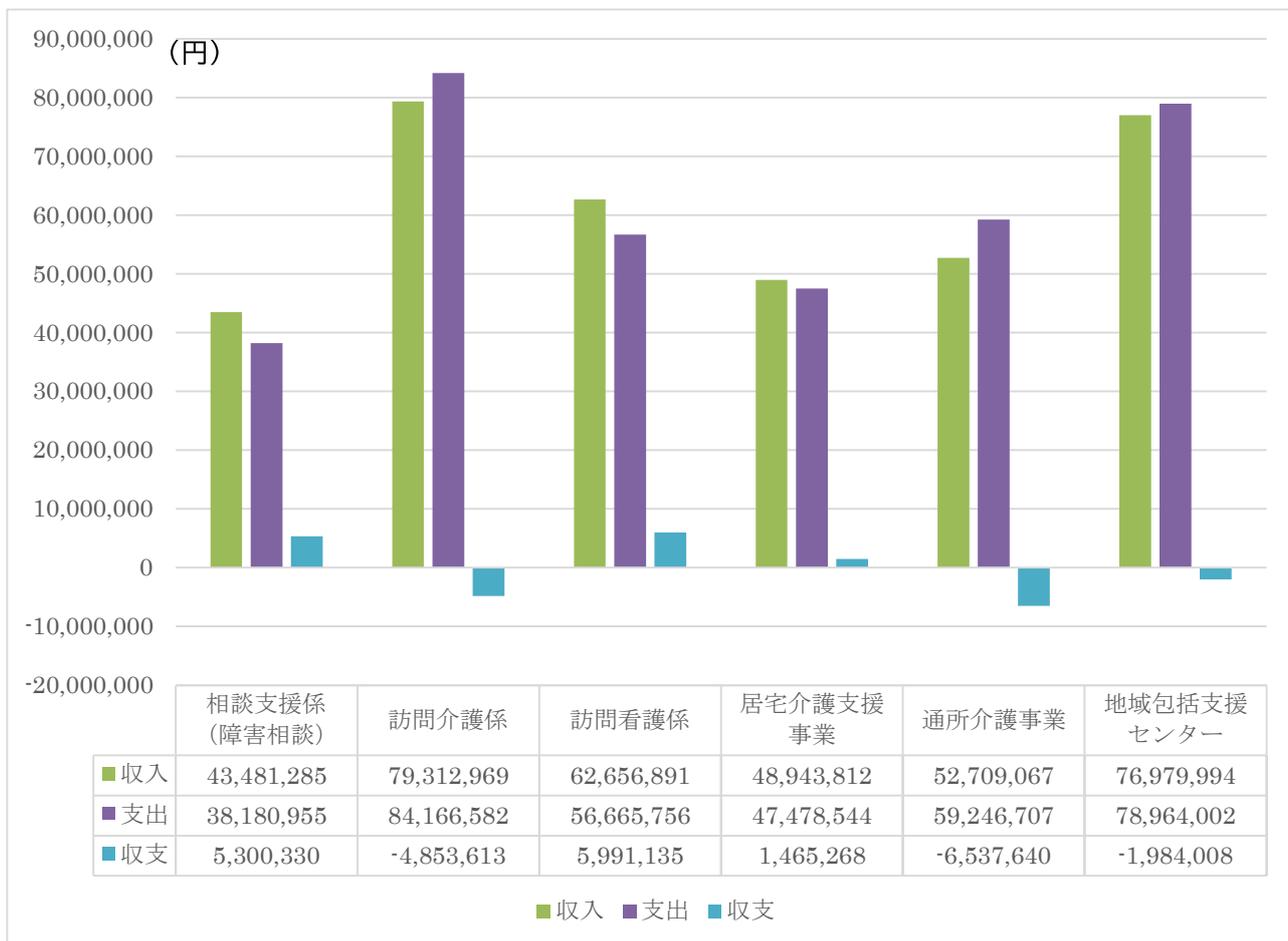


赤い羽根共同募金運動の缶バッジデザインを芦屋市内の中学校から応募いただき、その中から選ばれた入賞作品です。

○法人全体の収入と支出

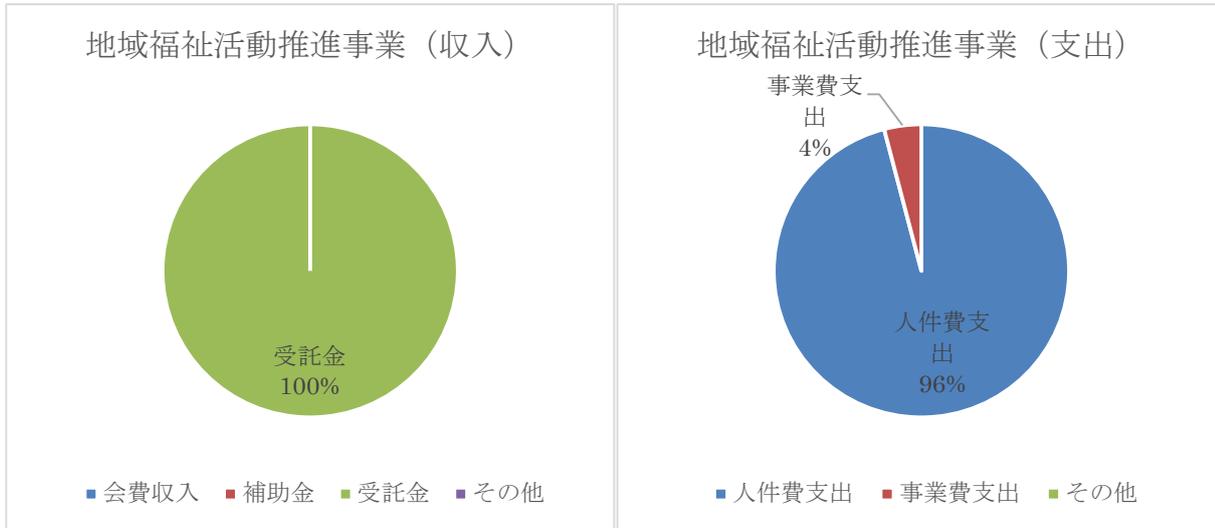


○収益に係る事業の収支



1 地域福祉事業

○地区福祉委員会活動 [福祉推進委員数168人(令和元年12月1日現在)]



地区	月日等	活 動	内 容	参加人数 (人)	
精道地区	6回開催	地区委員会	活動内容の協議、研修等	13	
	7月10日	精道コムスク夏祭り盆踊り講習会	盆踊り講習		
	7月20日	コムスク夏祭り	盆踊りに参加		
	10月8日	研修会	人と防災未来センター見学		21
	10月16日	精道ママカフェ	子育て応援団・Smileねっとと協働		
	3月 通年	地区福祉だより 安全パトロール	「こでまり」発行 登下校の見まもり		
地山区手	5回開催	地区委員会	活動内容の協議、研修等		
	1月	地区福祉だより	「地区福祉委員会だより」発行		
宮川地区	6回開催	地区全体委員会	研修等		
	5回開催	各町代表者会	活動内容の協議等		
	1月 随時	地区福祉だより 福祉マップ作り	「陽だまり」発行 各町で福祉マップ作成		
岩園地区	4回開催	地区委員会		14	
	随時	福祉マップ作り			
	6月12日	岩園幼稚園児と地域の方との交流			
	8月	夏のパトロール			
	10月	地区福祉だより			
	10月8日 通年	研修 下校パトロール			エフピコ西宮工場見学 下校時の見守り
朝日ヶ丘地区	6回開催	地区委員会		14~18	
	3月	地区福祉だより			
	8回参加	子育て応援団見まもり			

	6月28日	子育て応援団連絡会	小学校、幼稚園、PTA、自治会等の連絡会議	15
	7月21日	コミスク夏祭り	おでん販売、盆踊り	12
	8月6日	和風園盆踊り	和風園盆踊り、交流	10
	2月15日	朝日ヶ丘集会所フェスティバル	生きがいデイの作品展示・実演	5
三条地区	8回開催	地区委員会		
	8月5日	スタイづくり	スタイづくり	12
	8月24日	夏の夜のつどい	出店と盆踊り参加	16
	11月16日	三条コミスク運動会	運動会参加	
	2月9日	自主防災総合訓練	避難訓練・炊き出し・車いす体験	
3月	地区福祉だより	「お元気ですか？」の発行		
打出浜地区	6回開催	地区福祉委員会		
	6月21日	研修	津波高潮ステーション見学	
	12月7日	ぜんざい会（春日集会所）	ぜんざい会	29
	12月8日	ぜんざい会（打出集会所）	ぜんざい会	56
3月	地区福祉だより	「ひまわり」の発行		
潮見地区	10回開催	地区福祉委員会		
	6月21日	潮見まつり	昔あそび	9
	9月5日	子育て応援団	潮見中学校区“しゃべり場”	22
	11月16日	ふれあい市民運動会	参加ボランティア	3
	12月8日	親水クラブ	クリスマスイルミネーション	3
	12月8日	障がい児年末の集い	ボランティア	2
	1月24日	潮見中学校福祉学習	視覚障がいについて	4
	3月	地区福祉だより		
浜風地区	10回開催	地区委員会		
	6月	福祉マップづくり		
	7月	地区福祉だより	「はまかぜ」発行	
	7月11日	小地域福祉ブロック会議	「浜っぷを活用した取り組みを考える」	9
	8月23日	みどり地域生活支援センター盆踊り	盆踊りの手伝い（雨天中止）	5
	8月25日	愛しや夏祭り	屋台の手伝い	6
	12月1日	福祉もちつき大会	高浜町福祉もちつき大会に参加	10
12月23～27日	年末警戒	年末警戒に参加		

○地区福祉委員会正副代表者会



5回開催 (4/23、6/25、8/27、10/29、2/25)	・地区福祉委員の定年について、改選にあたっての研修について、各地区の活動状況の報告と情報交換等
-------------------------------------	---

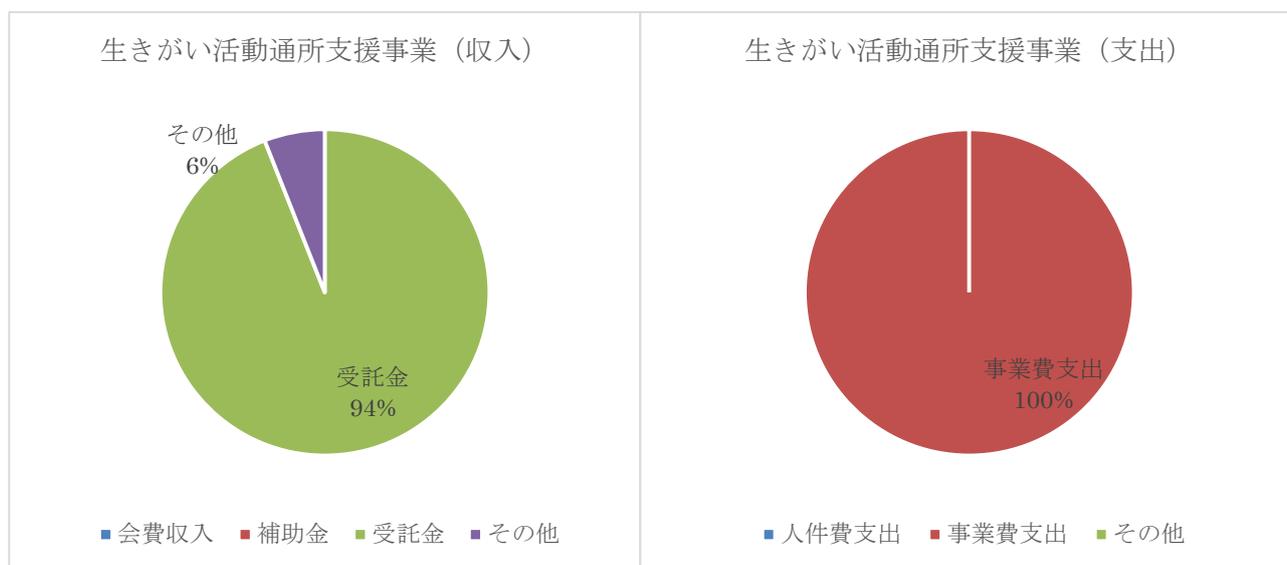
○福祉推進委員研修



月 日	場 所	研修名称	参加人数(人)
12月2日	福祉センター	○新任研修 ・社会福祉協議会の活動と福祉推進委員の役割について	60

12月17日	福祉センター	○委嘱式及び全体研修 ・委嘱状交付 ・パネルディスカッション 「私たちの活動の源は！！活動し続けるコツ」 登壇者 宝塚市第5地区 民生児童協力員 森本 美恵子 氏 朝日ヶ丘地区 福祉推進委員 平林 富久子 氏 宮川地区 福祉推進委員 片山 憲子 氏	117
--------	--------	---	-----

○地区生きがいデイサービス（受託事業）



地区	場所	内容	回数(回)	参加人数(人)
精道地区	福祉センター	カラオケ	4	49
	茶屋集会所	体操	46	644
	竹園集会所	カラオケ	12	151
	Les芦屋	健康体操	10	142
山手地区	大原集会所	歌で楽しむ	12	407
宮川地区	若宮集会所	カラオケ、チェアタップダンス、ゲーム	5	142
	西蔵集会所	大会、寄せ植え、お手玉遊び		
岩園地区	上宮川文化センター	万葉集に親しむ、健康体操と落語	2	170
朝日ヶ丘地区	朝日ヶ丘集会所	絵手紙、体操、気功、ちぎり絵、ネックレス作り	7	93
三条地区	三条集会所	さわやか体操	48	492
		手と口を動かす会「ひこばえ」	11	114
		歌う会「エゴラド」	11	226
打出浜地区	春日集会所	歌おう会	10	352
		いきいき体操	11	248

	打出集会所	お手玉、小物づくり、脳トレ体操、みんなで歌おう	5	66
潮見地区	潮見ゆうゆう倶楽部	ハガキに絵を描こう、音楽でリラクゼーション、クリスマス会	7	55
	陽光町市営住宅集会所	お茶とお菓子、チェアタップダンス、音楽でリラクゼーション、朗読、体操	8	127
浜風地区	高浜町第3集会所	折り紙、布ブローチづくり、祝儀袋作り、クリスマス飾り作り、折り紙	8	101

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を含む

○各地区（町）高齢者のつどい

45町で実施	1,160人
6地区で実施	595人

○高齢者訪問事業

25町で実施	762人（うち助成金申請339人）
--------	-------------------

○福祉推進委員活動の広報

発行地区	助成額
9地区	157,895円

○「ストップ・ザ・無縁社会」の取組の推進

月 日	事業名	内容	参加人数(人)
3月7日※	ストップ・ザ・無縁社会 地域フォーラム	・会長感謝状贈呈式 ・講演会	中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○地域福祉活動功労者への社協感謝状贈呈

- ・高額寄付者 1名
- ・ボランティアグループ 3団体
- ・福祉推進委員 5年以上 5名、10年以上 2名、15年以上 5名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ストップザ無縁社会地域フォーラム中止のため、感謝状贈呈者は翌年度に見送り

○福祉講演会（受託事業）

月 日	事業名	内容	参加人数(人)
6月15日	福祉講演会	・箏曲演奏 兵庫県立国際高等学校 邦楽部 ・講演 同志社大学大学院 社会学研究科 上野谷 加代子 氏 「これからの地域共生社会～私たちに何ができるのか～」	119

○災害時要配慮者支援の個別支援計画作成

月 日	場 所	会議名	参加数(人)
4月15日	神戸市	市町職員対象 防災と福祉連携モデル事業 実務者研修会報告	1
8月19日	姫路市	福祉専門職対象防災対応力向上研修	1
9月12日	神戸市	福祉専門職対象防災対応力向上研修	2
9月28日	打出教育文化センター	福祉理解研修	2
10月15日	打出教育文化センター	ケース会議（高齢者ケース）	4
10月19日	打出教育文化センター	ケース会議（障がい者ケース）	2
11月10日	打出公園	避難訓練	2
1月25日	小槌幼稚園	避難訓練	1

○防災訓練等への参加

月 日	場 所	内 容	参加数(人)
9月1日	芦屋大学	芦屋市防災総合訓練への参加	4
11月10日	打出公園	打出小槌町防災訓練	2
11月17日	県立芦屋高等学校	宮川町避難訓練	1
12月7日	呉川公園	呉川公園合同防災訓練（呉川町、竹園町、伊勢町）	1
12月14日	リード芦屋	公光町防災講習会	1
12月8日	宮塚公園	宮塚公園合同防災訓練（宮塚町・茶屋之町）	1
2月9日	山手夢保育園他	旧三条校区地域自主防災総合訓練	2
2月10日	岩園小学校	岩園小学校避難所開設訓練	1

○救急医療情報キットの配布

	配布数(個)
救急医療情報キットの配布	118

○多様な主体との連携の強化

事業名	内 容	実績等
あしや市民活動センターとの連携	「あしや笑顔ネット会議」出席	6回
	「あんあーと」への参加	1回
フードバンク活動との連携	フードバンク関西と協定に基づき生活困窮者へ食糧支援の調整	42件
フードバンク活動との連携	フードドライブの実施 ①月1回実施（第3月～金） ②あしや保健福祉フェア ③リユースフェスタ（2回）	15回
	コープこうべのフードドライブによる食料等無償提供会、交流会の実施	9/27 14団体 1/28 15団体

芦屋市健康増進・全世代交流に向けたプロジェクト 「こえる場」への参画	全体会	2回
	コアメンバー会議	2回
	その他の会議	3回

○協力事業者による地域見まもりネットワーク事業

見まもりネットワーク事業所	134件
事業所からの相談	1件
芦屋市地域見守り協定締結事業者 (包括連携協定)	2件
PR・広報活動	・高齢者虐待防止リーフレットの配布
その他の活動	・コープこうべ協同購入センター職員への周知

○福祉なんでも相談の実施

	実施回数 (回)	相談件数 (件)
まごのて相談 (第1・第3金曜日)	9	7
セブンイレブン潮芦屋店 (第2火曜日)	12	1

○地域活動支援

内 容	回数
ふれあい元気の会 実行委員会	13
スマイルサンモール広場 七夕まつり 打ち合わせ	1
スマイルサンモール広場 七夕まつり (7月6日)	1
芦屋浜夏祭り (8月3日)	1
ふれあい元気の会 盆踊り (8月24日)	1
芦屋浜健康フェスタ (10月20日)	1
ふれあい元気の会 バザー (10月22日)	1
ふれあい元気の会 秋まつり (11月10日)	1
ふれあい元気の会 もちつき (1月19日)	1

○地域支えあい推進員との連携

月 日	内 容
毎月	芦屋市地域支えあい推進員連絡会
毎月	芦屋市生活支援体制整備事業推進会議
7月27日	地域福祉アクションアワードにおけるカフェの実施
11月6日	潮見中学校区サロン集い場活動交流会
11月26日	「知ろう！話そう！つながろう！」～ご近所の支えあいと専門職の交流会

○地域活動者の支援及び地域（町）への支援

内 容	回数
地域活動を希望される市民との打ち合わせ	1
市民の方が開催した地域活動への参加協力	1
コープ移動販売実施に向けての打合せ、自治会への説明、現地見学等（朝日ヶ丘町・東山町）	5
コープ移動販売実施に向けての打合せ、自治会への説明、現地見学等（打出小槌町）	7

○地域活動団体への支援

月 日	内 容	団体数（件）
8月30日	ユニバーサルカフェ開設応援事業助成金申請に係る推薦	1
9月25日	コープこうべのフードドライブによる食料等無償提供会、交流会の開催	14
1月28日	コープこうべのフードドライブによる食料等無償提供会、交流会の開催	15

○関係会議への出席

名 称	出席回数（回）
芦屋市生活援助中心型サービス利用に係る地域ケア会議	2
地域ケア会議	1
民生委員・ケアマネ交流会（地域包括支援センター主催 精道地区・山手地区）	2
コープこうべ活動サークル交流会	4
その他の会議等	1

○個別支援業務

内 容	対応回数（回）
個別相談	6
個別ケース対応	2

○心配ごと相談事業（相談内容及び件数）

ア) 分野別集計

分 野	件数	分 野	件数
高 齢 者 に 関 す る こ と	89	こ ど も に 関 す る こ と	12
障 が い 者 に 関 す る こ と	8	そ の 他	23
合 計			132

イ) 相談内容別集計

相 談 内 容		件数	相 談 内 容		件数
1	在 宅 福 祉	32	8	年 金 ・ 保 険	1
2	介 護 保 険	15	9	仕 事	2
3	保 健 医 療	3	10	家 族 関 係	6
4	子 育 て ・ 母 子 保 健	3	11	住 居	5
5	こ だ も の 地 域 生 活	3	12	生 活 環 境	19
6	こ だ も の 教 育 ・ 学 校 生 活	4	13	日 常 的 な 支 援	10
7	生 活 費	6	14	そ の 他	23
合 計					132

ウ) 心配ごと相談研修の開催

月 日	開催場所	主な内容
6月17日	市役所	・平成30年度 活動状況報告、事例検討

○ニーズに応じた先駆的なサービスの推進

事業名	事業の主旨	件数及び内容
生活物品等ゆずりあいネットワーク事業	経済的に困窮している世帯等が必要とする日用品を地域住民等に提供の協力を呼び掛け、物品提供の支援を実施	提供件数 20件 掃除機、冷蔵庫、扇風機、洗濯機、自転車、毛布、テレビ等

○しょうがい者とのスポーツ交流ひろば（受託事業）

開催日時	奇数月第3土曜日、偶数月第3火曜日												
開催場所	福祉センター												
内 容	サウンドテーブルテニス、ボッチャ、フライングディスク等												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数(人)	26	17	18	75	16	21	13	13	18	13	14	※中止	244

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○身近な居場所や交流の場づくり

ア) 打出商店街内「まごのて～打出いこいの場～」の運営

開設日時	月曜日から金曜日 10時～16時
開所日数	227日
見まもり協力員登録人数	17名

イ) 来所者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数(人)	48	171	45	61	8	54	53	168	55	261	29	13

*協力員不在により集計ができていない日があります。

ウ) 教室、イベントなどの開催

教室、イベント名	実施回数(回)
おしゃべり場 (協力員:毎週火曜午後常駐)	30
エコタワシ	10
お茶会	9
絵手紙	9
刃物とぎ	10
みどり福祉作業所(授産品販売)	71
ホウ酸団子づくり(4月23日)	1
七夕(7月7日)	1
バザー(5月28日、11月26日)	2
震災祈念炊き出し(1月17日)	1

エ) ポイントカード「aカード」の活用(善意銀行)

精算店舗数	1店
「aカード」精算数	651枚(32,550円分)

オ) 自主財源確保の取り組み

アクリルたわし「まごっち～」売上	64個(実収入 3,200円)
教室・イベント等による収入	75,765円

○高齢者福祉月間行事



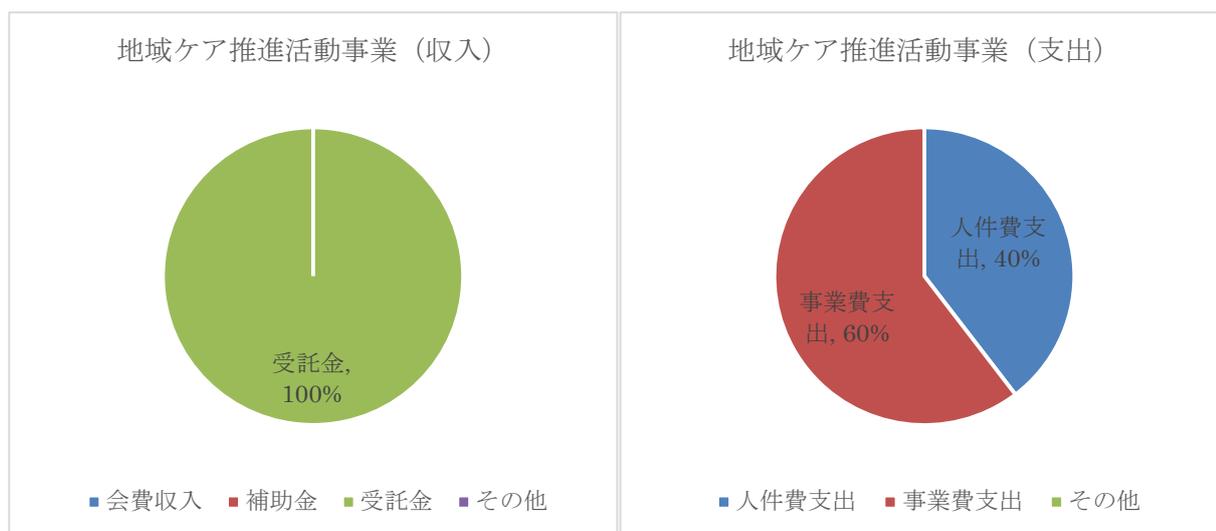
月 日	場 所	内 容	対象者数(人)
9月15日	ルナ・ホール	市敬老会参加者に紅白まんじゅうを贈呈(協賛)	900

○福祉イベント等への参画

月 日	場 所	内 容
7月28日	福祉センター	第9回あしや保健福祉フェア実行委員会
11月10日	総合運動公園	第30回障がい者とのふれあい市民運動会
11月10日	福祉センター	第12回こどもフェスティバル
12月8日	福祉センター	障がい児年末のつどい
12月5日 ～11日	福祉センター 木口記念会館	第11回芦屋市障がい児・者作品展
月1回	福祉センター	福祉センターエントランス事業実行委員会

○芦屋市地域発信型ネットワーク（受託事業）

ア) 小地域福祉ブロック会議



○小

月 日	会議名	内 容	参加人数(人)
7月11日	第1回浜風地区小地域福祉ブロック会議	「地域白書・はまっぷを活用した 取り組みを考える」	30
11月24日	第1回精道地区小地域福祉ブロック会議	「ワークショップ 逃げ地図を 作ろう！」	45
2月28日	第1回打出浜地区小地域福祉ブロック会議	「地図を見て地域の防災拠点を 確認しよう」	※延期
3月12日	第2回打出浜地区小地域福祉ブロック会議	「町を歩きながら実際に防災拠 点を見てみよう」	※延期
3月26日	第1回宮川地区小地域福祉ブロック会議	「ワークショップ 逃げ地図を 作ろう！」	※延期

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため翌年度へ延期

イ) 地域ケアシステム検討委員会正副委員長会

月 日	内 容	参加人数(人)
4月17日	平成31年度地域ケアシステム検討委員会の方向性について	5
5月7日	第1回地域ケアシステム検討委員会の進め方について	8
6月17日	第2回地域ケアシステム検討委員会の進め方について	8
8月19日	第3回地域ケアシステム検討委員会の進め方について	8
10月7日	第4回地域ケアシステム検討委員会の進め方について	10
11月29日	第5回地域ケアシステム検討委員会の進め方について	9
12月16日	第5回地域ケアシステム検討委員会の進め方について	7
2月13日	第6回地域ケアシステム検討委員会の進め方について	8
2月25日	第2回地域福祉推進協議会について	10

ウ) 地域ケアシステム検討委員会

月 日	会議名	内 容	参加人数(人)
5月9日	第1回地域ケアシステム検討委員会	・平成30年度地域福祉推進協議会の報告 ・事例検討	14
6月20日	第2回地域ケアシステム検討委員会	・生活困窮の分野からの現状と課題について ・意見交換	11
7月17日	関係機関へのヒアリング	・学校教育課へのヒアリング	8
7月23日	関係機関へのヒアリング	・子育て推進課へのヒアリング	7
7月30日	関係機関へのヒアリング	・障害福祉課へのヒアリング	5
7月31日	関係機関へのヒアリング	・高齢介護課へのヒアリング	9
8月29日	第3回地域ケアシステム検討委員会	・意見交換 連携状況と連携課題の可視化	14
10月17日	第4回地域ケアシステム検討委員会	・連携課題解決に向けたプロジェクトについて	11
10月31日	65歳プロジェクト	・支援者・当事者が困っていること	12
12月9日	65歳プロジェクト	・プロジェクトの進め方	17
12月19日	第5回地域ケアシステム検討委員会	・支援チーム検討会	19
1月22日	65歳プロジェクト	・障がい福祉サービス、介護保険サービス等に関する 学習	16
1月30日	支援チーム検討会	・支援チーム検討会	17
2月20日	第6回地域ケアシステム検討委員会	・支援チーム検討会、小地域福祉ブロック会議の運営 について	13
2月3日	65歳プロジェクト	・障がい福祉サービス事業所の見学	3
2月7日	65歳プロジェクト	・障がい福祉サービス事業所の見学	4
3月2日	65歳プロジェクト	・紹介シートに加えたい視点や内容の共有・確認	※中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

エ) 地域福祉推進協議会

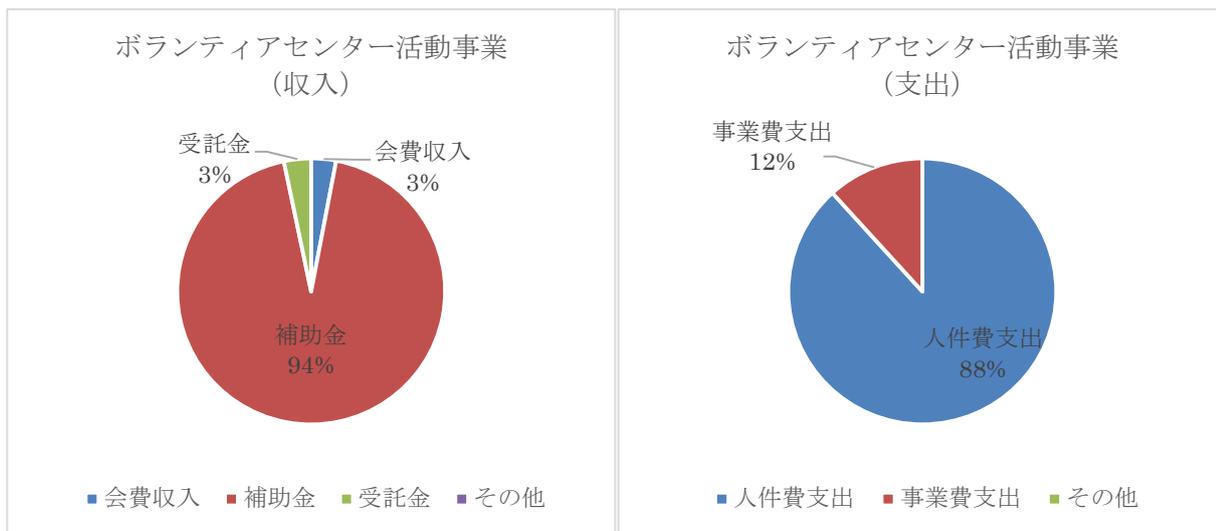
月 日	会議名	内 容	参加人数(人)
11月18日	第1回地域福祉推進協議会	・地域発信型ネットワークの取り組み状況 ・包括的相談支援体制の構築について	14
3月16日	第2回地域福祉推進協議会	・地域発信型ネットワークの取り組み状況 ・小地域福祉活動の今後の方向性について	※中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○福祉センター受付、総合案内業務（受託事業）

会議室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
会議室1	12 271	13 268	28 503	18 382	20 459	17 351	24 475	29 706	25 364	23 381	25 485	3 43
会議室2	17 264	15 241	17 259	14 245	14 251	10 161	14 201	21 295	21 297	15 215	19 241	3 12
多目的ホール	7 595	6 515	9 704	8 596	13 850	7 910	11 525	18 1510	20 1520	13 934	11 860	5 5
調理室	4 85	6 143	10 180	11 255	5 112	7 238	6 148	14 283	9 180	4 73	5 135	3 9
運動室	56 1,338	59 1,298	56 1,447	55 2,468	54 1,224	58 1,329	58 1515	60 1521	53 1445	62 1042	54 1256	20 76

2 ボランティア活動センター（受託事業）



○ボランティア登録数と主な活動内容

登録数		グループ	28グループ 925人 (準登録グループ含む)	個人	113人
主な活動内容	在宅福祉活動	朗読、点訳、手話通訳、要約筆記、安否確認（電話・訪問）、高齢者会食会、子育て支援、傾聴、アクリルたわし作り、布おもちゃ作り、外国人学習支援、復興住宅支援（友愛訪問、情報提供、ふれあい喫茶、行事協力）			
	施設利用者への支援活動	行事手伝い、音楽療法			

○ボランティア活動センター連絡会議

月 日	場 所	内 容	参加人数(人)
7月5日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回あしや保健福祉フェアについて ・令和元年度県民ボランティア活動助成エントリー受付について ・ボランティア活動助成（行動費）上半期申請について ・意見交換 	21
3月3日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度登録更新と各種手続きについて ・意見交換 ・連絡事項 	※中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○ボランティアコーディネート

相談	47件
派遣調整	16件
新規登録	5件
備品貸出（布おもちゃ等）	95件

○福祉ボランティア功労者への感謝状贈呈

令和元年度兵庫県ボランティア活動賞	1団体
-------------------	-----

○ボランティア市民活動災害共済等への加入促進

市民活動災害共済プラン	1,829人
天災危険補償プラン	59人
事故報告・傷害保険申請及び給付	9件
ボランティア活動等行事用保険	22件

○児童・生徒等のボランティア活動事業



事業名	内 容	助成件数	助成金額
児童・生徒等のボランティア活動事業	児童会・生徒会・ボランティアクラブの事業及び学校と地域の交流事業等への助成	10校	210,977円

○貸室

会議室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
団体会議室1	359	314	394	327	356	349	417	436	361	442	407	197
団体会議室2	397	315	473	423	353	388	406	559	430	493	570	222
福祉団体室	147	130	128	97	90	91	69	83	78	86	90	21
ボランティア活動センター	206	264	242	136	249	213	185	240	173	159	163	80

○夏休み中学生福祉ボランティア学習



月 日	事業名	内 容	参加人数(人)
8月5日 ～7日	夏休み中学生 福祉ボランティア学習	中学生を対象とした夏休み期間に、福祉や防災についての学習、施設でのボランティア体験を実施	26

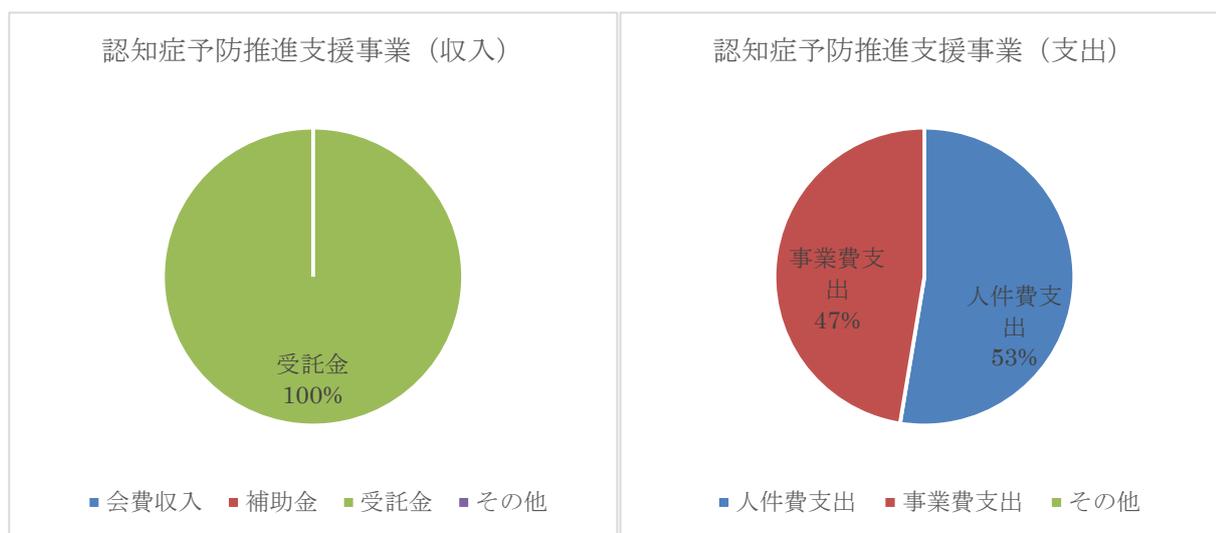
○学校での福祉学習活動



月 日	場 所	内 容	参加人数(人)
6月27日	兵庫県警察学校	アイマスク体験、車いす体験、高齢者疑似体験	8クラス 216
11月22日			6クラス 136
9月5日	山手小学校	講話（視覚に障がいのある方）	4クラス 117
9月6日		車いす体験・アイマスク・白杖体験	
9月24日	岩園小学校	点字体験	4クラス 120
10月1日		講話（視覚に障がいのある方）、アイマスク・白杖体験	
10月11日		講話（肢体に障がいのある方）、車いす体験	
10月18日		認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験	
10月16日	打出浜小学校	講話（視覚に障がいのある方）、アイマスク・白杖体験	3クラス 95
10月23日		点字体験	
10月28日	潮見幼稚園	講話（視覚に障がいのある方）	年少1・年長2 51
10月30日	芦屋国際中等教育学校	認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験	2クラス 80
11月8日	潮見小学校	講話（視覚に障がいのある方）	4クラス 121
1月8日		手話体験	
11月13日	朝日ヶ丘幼稚園	講話（視覚に障がいのある方）	年長1 12
11月15日	山手中学校	講話（視覚に障がいのある方）、アイマスク 認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験	5クラス 165
1月10日	岩園保育所	講話（視覚に障がいのある方）	4歳・5歳 36
1月22日	打出保育所	講話（視覚に障がいのある方）	4歳・5歳 42
1月24日	潮見中学校	講話（視覚に障がいのある方）、アイマスク・白杖体験	3クラス 98
1月27日	精道小学校	点字体験、アイマスク、車いす体験	4クラス 114
2月10日		講話（視覚障がいのある方）	
1月28日	精道こども園	講話（視覚障がいのある方）	4歳・5歳 82
2月28日	精道中学校	講話（聴覚に障害のある方）	※中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○認知症サポーター養成講座基礎編（受託事業）



月 日	場 所	主 催	参加人数(人)
4月19日	福祉センター	宮川地区福祉委員会	20
4月19日	阪神調剤薬局本部	阪神調剤薬局職員	39
4月25日	阪神調剤薬局本部	阪神調剤薬局職員	118
6月6日	兵庫県警察学校	兵庫県警察学校生	147
6月7日	シルバー人材センター	生活支援型訪問サービス従事者研修受講生	11
7月18日	環境処理センター	芦屋市収集事業課	23
7月27日	福祉センター	芦屋市在住・在勤の方	16
7月30日	シルバー人材センター	シルバー人材センター会員	17
8月8日	山手小学校	キッズスクエア登録者	9
8月19日	宮川小学校	キッズスクエア登録者	17
8月20日	朝日ヶ丘小学校	キッズスクエア登録者	6
8月21日	浜風小学校	キッズスクエア登録者	10
9月18日	高浜1番住宅	高浜町1番住宅在住の方	54
9月28日	芦屋市立体育館青少年センター	認知症キッズサポーター養成講座参加者	8
10月3日	コープデイズ組合員交流室	コープ福祉サークル活動交流会	22
10月10日	市役所	新任職員研修（後期）	33
10月18日	岩園小学校	岩園小学校 4年生	123
10月29日	みずほ銀行芦屋支店	みずほ銀行職員	11
10月30日	芦屋国際中等教育学校	芦屋国際中等教育学校 1年生	92
10月30日	シルバー人材センター	生活支援型訪問サービス従事者研修受講生	7
11月15日	山手中学校	山手中学校 1年生	64
11月22日	兵庫県警察学校	兵庫県警察学校生	133
11月25日	福祉センター	芦屋市在住・在勤の方	10
11月26日	シルバー人材センター	シルバー人材センター会員	6
11月28日	ジークレフ芦屋	ジークレフ芦屋住居者	10

1月31日	シルバー人材センター	生活支援型訪問サービス従事者研修受講生	14
2月5日	福祉センター	芦屋市在住・在勤の方	16
2月26日	シルバー人材センター	シルバー人材センター会員	8
合 計			1,044

○認知症サポーター養成講座ステップアップ編（受託事業）

月 日	場 所	主 催	参加人数(人)
7月19日	環境処理センター	芦屋市収集事業課職員	22
7月27日	福祉センター	芦屋市在住・在勤の方	9
12月6日	木口記念会館	権利擁護支援者人材バンク登録者	24
合 計			55

○手話奉仕員養成研修入門の開催（受託事業）

月 日	事業名	内 容	回 数	参加数（人）
9月17日 ～2月27日	手話奉仕員養成研修入門の開催 （毎週木曜日）	手話奉仕員養成研修（基礎編）	22回	8

○災害ボランティア活動の推進

月 日	場 所	内 容	参加数(人)
12月4日	神戸クリスタルター	大規模災害を想定した災害ボランティア連携訓練	1

○ボランティア情報の充実

事業名	内 容
ボランティア情報の発信	社協だより「ボランティア活動センターコーナー」にボランティア情報等を掲載
保健福祉フェアへの参加	ボランティアグループ紹介コーナー・布おもちゃコーナー・小物作りコーナー・マジックショー

○活動に関する財源確保の支援

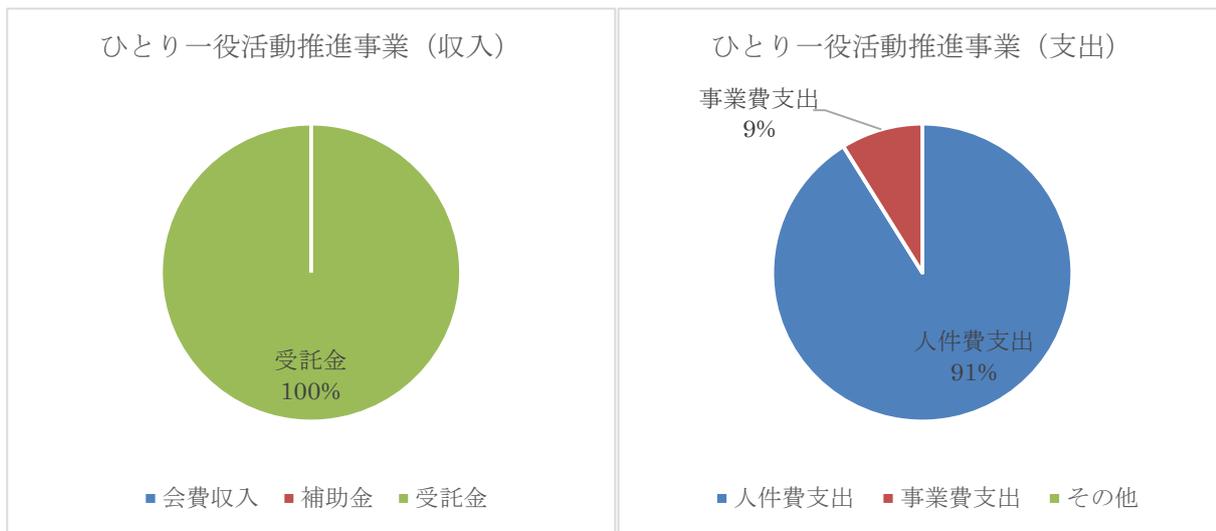


ボランティアグループ活動助成	22件
----------------	-----

○兵庫県県民ボランタリー活動助成申請受付

助成決定団体	34件
--------	-----

○ひとり一役活動推進事業（受託事業）



ア) 統計

ワーカー登録者	141名
受入登録機関	26施設
居宅支援活動	11件
ポイント転換交付者	74名

イ) 月別活動者数及び活動件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
活動者数	83	80	83	78	72	74	76	83	77	77	79	1	863
延べ活動件数 (うち居宅)	275 (5)	274 (4)	254 (5)	234 (4)	220 (5)	239 (5)	264 (13)	287 (11)	242 (12)	230 (16)	250 (15)	4 (4)	2773 (99)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月27日以降活動中止（一部居宅支援を除く）

ウ) 交流会・研修会の開催

月 日	内容	場所	人数
11月8日	ひとり一役ワーカー研修 「コミュニケーション講座」	福祉センター	8
3月25日	ひとり一役ワーカー・受入機関交流会	福祉センター	※中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○アクションプログラム推進事業（受託事業）

ア) アクションプログラム推進協議会の開催（月1回）

月 日	場 所	内 容	参加人数(人)
4月16日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ さくらまつり振り返り ・ 平成30年度活動報告・31年度活動計画について ・ 平成31年度あしや保健福祉フェアについて 	13
5月24日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度あしや保健福祉フェアについて ・ 平成30年度活動報告について ・ 各プロジェクトの進捗 	22
6月13日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度あしや保健福祉フェアについて ・ 平成30年度活動報告について ・ 各プロジェクトの進捗 	17
7月4日	木口記念会館	<ul style="list-style-type: none"> ・ あしや保健福祉フェアについて ・ 平成30年度「活動報告書」について ・ 平成30年度収支報告について ・ 各プロジェクトの進捗 	17
8月20日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ あしや保健福祉フェアのふりかえりについて ・ 地域イベント参加予定 ・ 各プロジェクトの進捗 	18
9月18日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域イベント参加予定 ・ 各プロジェクトの進捗 	14
10月17日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域イベント参加予定 ・ 各プロジェクトの進捗 	13
11月22日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域イベント参加予定 ・ 各プロジェクトの進捗 	13
12月20日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域イベント参加予定 ・ 各プロジェクトの進捗 	10
1月29日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域イベント参加予定 ・ 各プロジェクトの進捗 	9
2月14日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域イベント参加予定 ・ 各プロジェクトの進捗 	11
3月17日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度事業報告・令和2年度事業計画について 	※中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ) その他の活動

月 日	場 所	内 容	参加人数(人)
7月27日	福祉センター	地域福祉アクションアワードvol.5 (保健福祉フェア)	106
8月5日	福祉センター	第6回「こえる場！」出席	3
10月26日	茶屋之町	茶屋秋まつり参加	7
11月8日	市役所	第7回「こえる場！」出席	4
11月10日	陽光町	ふれあい元気の会あきまつり参加	7
11月22日	県立警察学校	福祉学習参加	4

ウ) あしや発信局玉手箱プロジェクト

月 日	場所	主な内容	参加人数(人)
5月10日	福祉センター	第1回打合せ	6
6月12日	福祉センター	第2回打合せ	6
7月2日	福祉センター	第3回打合せ	7
7月27日	福祉センター	【開催】スマホカフェ (保健福祉フェア)	26
8月21日	福祉センター	【研修】サイバー犯罪防止教室開催	12
9月18日	福祉センター	第4回打合せ	7
10月9日	木口記念会館	第5回打合せ	7
10月27日	芦屋大学	【参加】芦屋大学祭「イザ！カエルキャラバン！」	8
11月29日	福祉センター	第6回打合せ	7
12月24日	福祉センター	第7回打合せ	8
1月23日	福祉センター	第8回打合せ	7
2月27日	福祉センター	第9回打合せ	※中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

エ) わがまちベンチプロジェクト

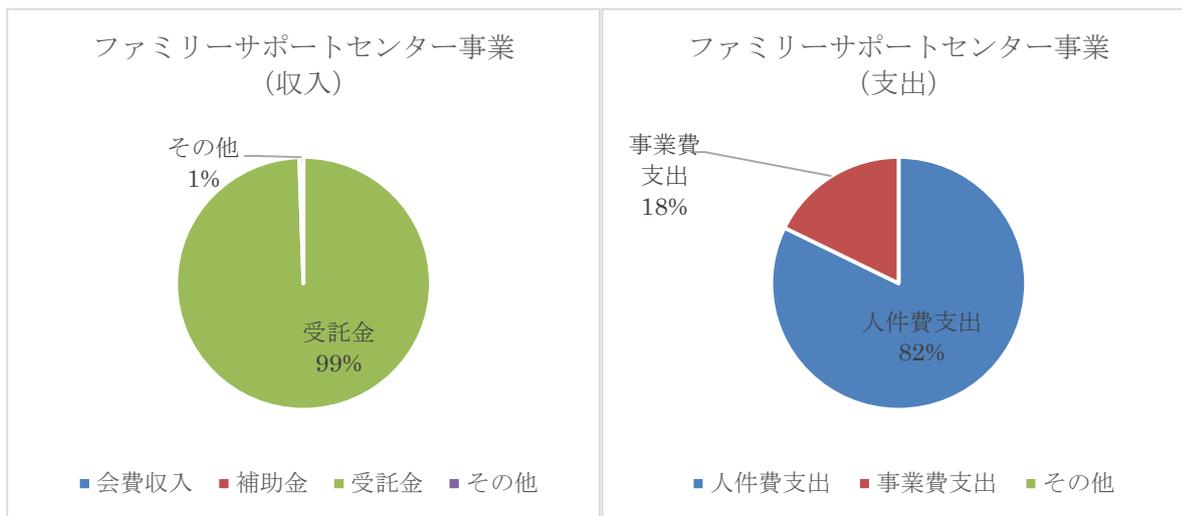
新規設置個所	設置台数 (台)
コミュニティスペースふらっと (あしや聖徳園)	1
高浜町ライフサポートステーション (山の子会)	1

○障がい児日中一時支援事業 (登録者数 29名)

利用者数・実施日数・活動ボランティア数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数(日)	20	20	21	22	19	20	20	18	19	15	18	1	213
延べ利用者数(人)	80	65	79	88	67	61	64	66	70	59	67	24	790
延べボランティア数(人)	17	13	21	14	13	12	9	10	12	12	13	11	157

○ファミリー・サポート・センター事業（受託事業）



ア) 会員登録人数及び活動状況

会員種別	登録人数（人）	活動件数	6,259件
依頼会員	890		
協力会員	312		
両方会員	67		

イ) 講座・交流会等

月 日	事業名	内 容	参加人数（人）
6月 10. 12. 14. 17. 19. 21日	協力会員養成講座	①オリエンテーション、子どもの発達と健康 ②おいしくて楽しい食事 ③緊急時対策と応急処置	17 延べ71
11月 13. 14. 15. 19. 20. 21日		④保育所見学 ⑤保育のこころ ⑥事例発表、協力会員としてスタートするために	17 延べ43
① 5月22日 ② 9月28日 ③ 10月26日 ④ 2月22日	お役立ち講座	①「おいしくて楽しい食事」講師：芦屋いずみ会 ②「知っておきたい子どもの応急手当」 講師：芦屋市救命救急スタッフ ③「発達障がい」ってなあに 講師：障がい者基幹相談支援センター職員 ④「リボンコラージュの万華鏡」 講師：ラフラブ主宰 中島 智美 氏	①16 ②12 ③17 ④16 (うち子ども7)
7月5日	協力会員交流会	「コットンパールのネックレス」講師：帰山 陽子 氏	11
12月10日	(おしゃべりサロン)	花のポップリでつくる香りのクリスマスリースと意見交換 講師：藤山 文 氏	16
8月24日	地区別交流会	「つくって食べようインドカレー」講師：ナゼ・トラバリー氏	17 (うち子ども8)
3月7日	会員交流会	人形劇「ハラペコくん」他 出演：人形劇団 おまけのおまけ	※中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○ワンコインサロン（受託事業）

月 日	場所	内 容	参加人数(人)
4月12日	高齢者交流室	「スワロフスキービーズのネックレス」	15
4月19日		「写経」	11
4月26日		「マカロンのストラップ」	14
5月17日		「マクラメ編み」～金魚～	14
5月24日		「ちぎり絵」～花かぶと～	9
5月31日		「ナンプレ」～初めての挑戦！とにかくやってみよう～	13
6月14日		「ナンプレ」～解き方のコツを知って中級に挑戦！～	15
6月21日		「テーブルで抹茶を楽しみましょう！」	11
6月28日		「気軽に楽しめるかわいい寄せ植え」	12
7月12日		「ナンプレ」～解き方のコツを知って難問に挑戦！1～	14
7月19日		「マクラメ編み」～パンダとお猿のストラップ～	12
7月26日		「フラダンス」～フラで楽しく脳イキイキ～	8
9月13日		「ナンプレ」～解き方のコツを知って難問に挑戦！2～	14
9月20日		「マクラメ編み」～天使のアクセサリー～	12
9月27日		「音楽ケア体操」～歌って笑って認知症予防～	11
10月11日		「ナンプレ」～解き方のコツを覚えて難問に挑戦！1～	7
10月18日		「写経」	11
10月25日		「ヨーヨーモチーフのブローチ」	5
11月8日		「ナンプレ」～解き方のコツを覚えて難問に挑戦！2～	7
11月15日		「マクラメ編み」干支の色紙～子～	15
11月22日		「ちぎり絵」クリスマス	9
12月13日		「ちぎり絵」干支色紙～幸せを招く招福子～	13
12月20日		「そろばん教室」①	8
1月17日		「座ってタップダンス」～認知症予防体操～	12
1月24日		「マクラメ編み」～バッグチャーム～	15
1月31日		「そろばん教室」②	14
2月14日		「回想法」～懐かしい思い出話で認知症予防～	4
2月21日		「お薬手帳カバー」	10
2月28日		「そろばん教室」③	※中止
3月13日		「マクラメ編み」～ミニドア飾り～	※中止
3月27日	「そろばん教室」④	※中止	
合 計			315

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○高齢者会食懇談会

毎月1回（8月、1月は除く）、2月、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
延べ309名参加（うち46名は初参加）

いずみ会会食グループの協力により市内在住70歳以上の方を対象

○介護用品の貸出

車いすの貸出

事務局取扱分 87件

各町設置車いすの貸出と点検 随時

（民生児童委員、福祉推進委員または、自治会で管理）

○地域子ども会活動助成

28件 総額435,000円を助成金交付

○あじさいの会（認知症の人を抱える家族の会）支援活動

・定例会へ出席し情報交換（毎月1回）

○社会を明るくする運動協賛

社会を明るくする運動に協賛・標語パネルを掲示（7月1日～31日）

3 相談支援

○総合相談窓口（受託事業）

ア) 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	24	32	19	31	20	25	23	12	19	15	15	70	305
2回目以降	19	16	4	21	6	12	15	6	8	15	4	12	138
合計	43	48	23	52	26	37	38	18	27	30	19	82	443

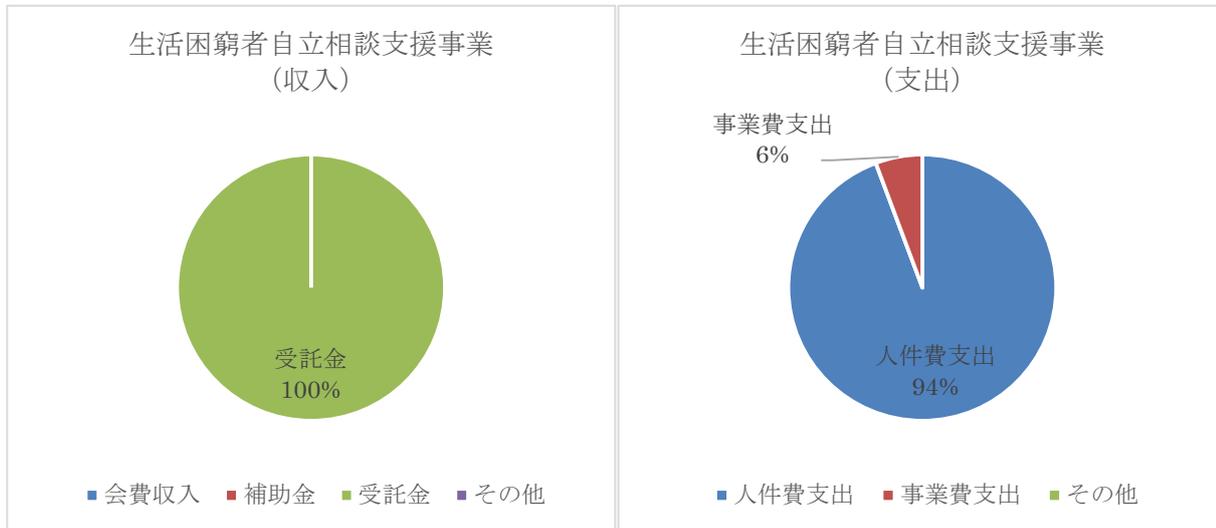
イ) 相談内容（重複含む）

相談内容	件数(件)	相談内容	件数(件)
介護保険・福祉制度	88	介護予防	5
生活（衣食住）	39	就労	23
経済・法律問題	89	役所の手続き	9
家族との関係	19	社会的孤立	10
健康・病院	38	不安・話し相手	13
メンタルヘルス	15	その他	39

ウ) 総合相談連絡会の開催

月 1 回定例開催 1 1 回開催

○生活困窮者自立相談支援事業（受託事業）



ア) 自立相談支援事業（継続相談）における支援状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自立相談件数	4	11	11	8	9	18	8	5	5	10	15	19	123
プラン件数	2	6	5	5	6	3	7	3	5	5	10	5	62
住居確保給付金	0	1	1	1	1	2	2	1	0	0	0	0	9
就労準備支援事業	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
子どもの学習・生活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
生活福祉資金貸付事業	1	3	2	4	2	1	0	0	0	0	0	0	13
生活保護受給者等就労自立促進事業	1	2	3	1	3	0	0	0	1	1	1	0	13
就労者数	1	0	0	0	3	1	1	0	0	4	1	0	11

イ) 定例支援調整会議、個別支援調整会議、市役所庁内連携会議

会議名称	頻度	開催回数（回）
定例支援調整会議	月1回	12
個別支援調整会議	随時	7
芦屋市生活援護課との連絡会議	2か月1回	3
芦屋市債権管理課・保険課との連絡会議	随時	1
ケースレビュー会議	年2回	2

ウ) 自立相談支援事業事例検討会の開催

内容	頻度	開催回数(回)
事例検討会 SV: 神戸学院大学教授 阪田 憲二郎 氏	2か月1回	5

※3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

エ) 社会的孤立支援(新規)

・高校卒業後の相談窓口周知

高校訪問 (就労準備支援同行)	兵庫県立西宮香風高等学校
	兵庫県立東灘高等学校
	西宮甲英高等学院
	クラーク記念国際高等学校

・親の会立ち上げ準備

月日	内容	参加人数(人)
9月24日	兵庫ひきこもり地域支援センターとの情報交換	3
9月26日	勉強会(講師:宝塚こもりむしの会 岡本 康子 氏)	3

・「ひだまりの会~子どもを思いやる親の会~」立ち上げと開催

月日	内容	参加人数(人)
11月21日	ひだまりの会立ち上げと情報交換	7
12月25日	情報交換	8
1月22日	情報交換	7
2月13日	情報交換	7
3月14日	情報交換	※中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

オ) 生活困窮者自立支援推進協議会への参画

月日	会議名
7月16日	第1回芦屋市生活困窮者自立支援推進協議会

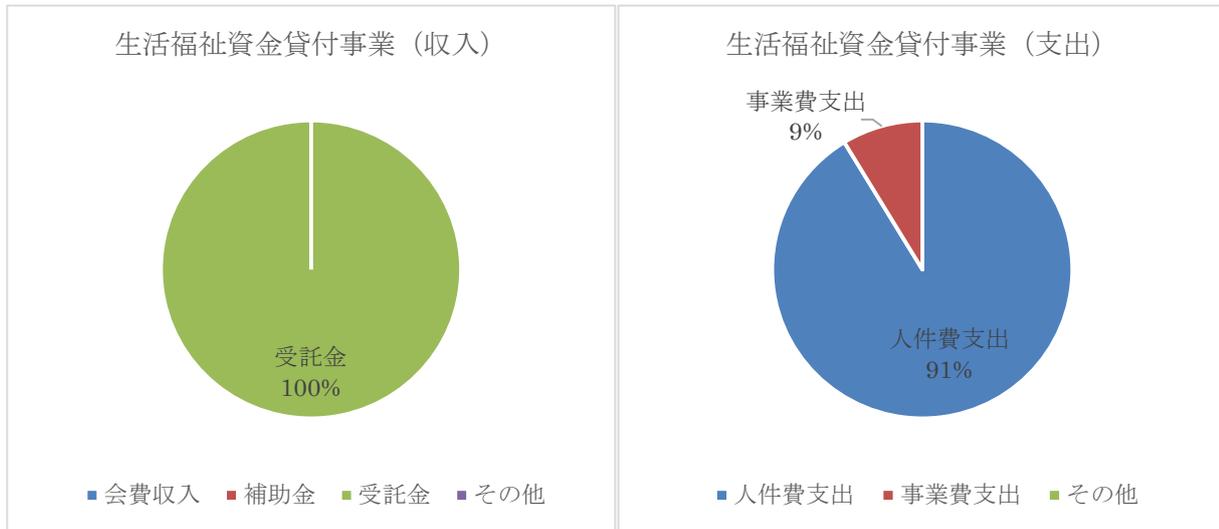
カ) 担当職員等への説明会・研修会開催

月日	対象者	内容
4月10日	居宅介護支援事業所職員向け説明会	生活困窮者制度紹介
6月17日	芦屋市福祉部職員	生活困窮制度・貸付制度紹介
6月25日	新任職員向け研修	生活困窮者制度説明
8月20日	高齢者生活支援センター連絡会	生活困窮者制度説明
9月19日	芦屋市民生委員児童委員協議会	生活困窮者自立支援制度説明
9月25日	芦屋市人権推進協議会	社会的孤立支援について

キ) 自治体コンサルタントサービス

月 日	内容	講師・参加者数
10月16日	芦屋市における生活困窮者自立支援の事業内容と体制、芦屋市における課題	講師：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事 行岡 みち子 氏、 京都自立就労サポートセンター 主任自立就労支援相談員 高橋 尚子 氏 参加者：7名
1月15日	就労準備支援事業の研修、課題への助言	講師：京都自立就労サポートセンター 主任自立就労支援相談員 高橋 尚子 氏 参加者：13名
2月5日	自立相談支援機関に対する本制度に関する助言	講師：グリーンコープ生活協同組合連合会 常務理事 行岡 みち子 氏、 那珂川市困りごと相談室主任相談員 田代 恵子 氏 参加者：7名

○生活福祉資金貸付事業（受託事業）



ア) 兵庫県社会福祉協議会生活福祉資金貸付事業

種 別	初回相談	継続相談	決定件数	貸付決定金額
福祉資金	109	693	0	0
教育支援資金			11	17,408,880円
緊急小口資金			38	5,112,000円
総合支援資金	12	77	2	680,000円
臨時特例つなぎ資金			1	50,000円
不動産担保型融資	3	3		

イ) 教育支援資金在学確認面談

実施時期	実施対象者 (人)
7月～8月	28

ウ) 芦屋市生活福祉資金貸付事業

	決定件数	貸付決定金額
緊急小口資金	8	80,000円

○民生児童委員活動との連携



ア) 福祉を高める運動の推進 (5月21日～23日実施) *対象世帯 (重複あり)

内 容	世帯数 (件)
(ア) 経済的な問題を抱える世帯	22
(イ) 障がい (児) 者の問題を抱える世帯	30
(ウ) 介護等の問題を抱える世帯	16
(エ) ひとり暮らしで問題を抱える世帯	100
(オ) 児童の問題を抱える世帯	10
(カ) その他何らかの問題を抱える世帯	61

イ) 低所得世帯に対する自立のための援助金交付

夏季援助 (共同募金一般配分金)

世帯構成	世帯数 (件)
1人世帯	4
2人世帯	7
3人世帯	6
4人世帯	3
5人世帯	0
6人世帯	2
7人世帯	0
合計	22

歳末たすけあい (歳末たすけあい募金)

世帯構成	世帯数 (件)
1人世帯	3
2人世帯	6
3人世帯	6
4人世帯	3
5人世帯	0
6人世帯	2
7人世帯	0
合計	20

ウ) 芦屋市民生児童委員 

芦屋市民生児童委員協議会に対する活動費の交付 150,000円

4 障がい相談支援事業

○障がい者基幹相談支援センター（受託事業）

ア) 相談者数（本会相談員分）

種別	延べ人数（人）
身体	6
知的	7
精神	28
発達	8
その他	10
計	59

イ) 支援の方法（本会相談員分）

内容	延べ相談回数（件）
訪問	409
来所	262
同行	49
電話相談	977
電子メール	37
個別支援会議	48
関係機関	747
その他	11
合計	2,540

*相談者1人に対して、支援方法が複数の場合有

ウ) 相談の内容（本会相談員分）

内容	相談回数(件)	内容	相談回数(件)
福祉サービス利用等に関する支援	1,565	家計・経済に関する支援	72
障がいや症状の理解に関する支援	175	生活技術に関する支援	133
健康・医療に関する支援	205	就労に関する支援	27
不安の解消・情緒の安定に関する支援	119	社会参加・余暇活動に関する支援	16
保育（療育）・教育に関する支援	49	権利擁護に関する支援	57
家族関係・人間関係に関する支援	146	その他	7
		合計	2,571

*相談1件につき支援内容が複数の場合有

エ) 虐待ケースの支援内容（通報件数6件・本会相談員分）

区分	回数（回）
訪問	11
来所	0
同行	0
電話相談	7
電子メール	1
個別支援会議	27
関係機関	19
その他	3
合計	68

内 容	回数 (回)
事実確認	11
安否確認	0
状況・実態把握	23
被虐待者の相談	0
養護者の相談	0
福祉サービスの利用支援	1
年金・医療の手続き支援	0
福祉サービス利用援助事業	0
その他の生活支援	1
債務整理	0
消費者被害	0
法律職紹介・法テラス	0
成年後見申立支援	0
成年後見市長申立	0
立ち入り調査	0
やむを得ない措置	0
面会制限	0
その他	27
合計 (回)	63

○障がい者相談支援事業（受託事業）

ア) 相談者数

種 別	延べ人員 (人)
身体	36
知的	42
精神	83
発達	68
その他	99
計	328

イ) 支援の方法

内 容	延べ相談回数 (件)
訪問	198
来所	291
同行	69
電話相談	692
電子メール	62
個別支援会議	33
関係機関	1,679
その他	7
合 計	3,031

*相談者1人に対して、支援方法が複数の場合有

ウ) 相談の内容

内 容	相談回数(件)
福祉サービス利用等に関する支援	1,206
障がいや症状の理解に関する支援	450
健康・医療に関する支援	345
不安の解消・情緒の安定に関する支援	402
保育（療育）・教育に関する支援	96
家族関係・人間関係に関する支援	355
家計・経済に関する支援	186
生活技術に関する支援	192
就労に関する支援	329
社会参加・余暇活動に関する支援	110
権利擁護に関する支援	177
その他	10
合 計	3,858

*相談1件につき支援内容が複数の場合有

○指定特定相談・指定障害児相談事業（介護給付費）

ア) 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計（件）
新規	31	32	39	30	31	27	32	29	29	31	22	40	373
継続	60	62	63	69	61	84	78	59	77	69	64	67	813

※各月の「計画」は計画作成（新規又は更新）人数であり、「継続」はモニタリング実施人数である。

イ) 支援の方法

	延べ相談回数（件）
訪問	708
来所	259
同行	23
電話相談	432
電子メール	71
個別支援会議	17
関係機関	465
その他	47
合 計	2,022

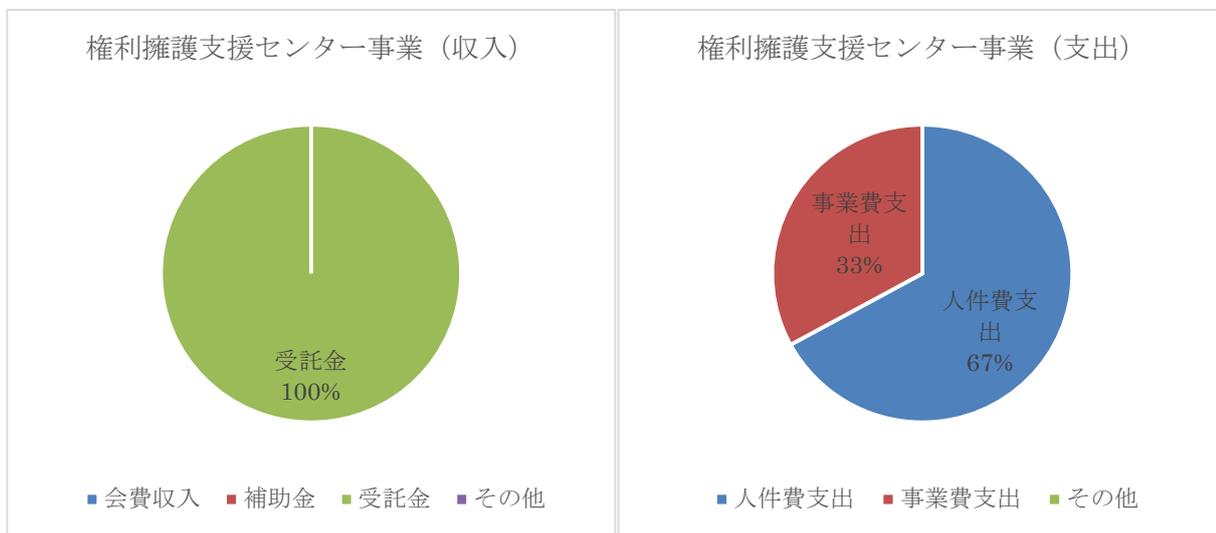
*相談者1人に対して、支援方法が複数の場合有

ウ) 相談の内容

内 容	相談回数(件)
福祉サービス利用等に関する支援	1,270
障がいや症状の理解に関する支援	151
健康・医療に関する支援	193
不安の解消・情緒の安定に関する支援	93
保育（療育）・教育に関する支援	38
家族関係・人間関係に関する支援	133
家計・経済に関する支援	29
生活技術に関する支援	130
就労に関する支援	95
社会参加・余暇活動に関する支援	49
権利擁護に関する支援	2
その他	10
合 計	2,193

*相談1件につき支援内容が複数の場合有

5 権利擁護支援



○権利擁護支援センター事業（受託事業）

ア) 権利擁護専門相談

定期相談、臨時相談（相談件数 50件）

①法律家（弁護士、司法書士）と専門相談員（社会福祉士等）による協働型権利擁護専門相談

②専門相談員（社会福祉士等）による相談

（相談件数3,086件、新規300件、継続2,786件）

③電話や来所により、権利擁護及び成年後見制度に関する相談

イ) 権利擁護専門支援事業

虐待等、権利侵害に対する専門的な支援

虐待通報件数 高齢者 76件 (養護者 73件、施設従事者3件)

障がい者 11件 (養護者 10件、施設従事者1件)

ウ) 人材バンク登録者

登録者数 74名

後見活動支援員フォローアップ研修・実地研修

12月12日～26日までの7日間 16名

エ) 介護相談員派遣事業

1施設を2～3名の介護相談員が担当し、月に2回を目安に、介護相談員活動を行った。

活動人員 44名

活動協力施設 14施設

全体会 5月30日

新任相談員研修会 5月30日

中間会議 10月28日

活動協力施設へのヒアリング調査 14施設

介護相談員フォローアップ研修 11月16日、12月6日

総括会議 3月 開催中止

オ) 障がい者施設等相談員派遣事業

1施設を2～3名の介護相談員が担当し、月に2回を目安に、介護相談員活動を行った。

活動人員 10名

活動協力施設 3施設

フォローアップ研修 7月11日

現場実習 8月

全体会 8月27日

総括会議 3月 開催中止

カ) 終活支援事業「ろーすくーるAshiya」

65歳以上の市民を対象に公募、最高齢90歳、平均年齢78.6歳の16名が受講。

高齢期の生活と健康、人生の終わりに準備すべきことについて5回シリーズで開催した。

11月20日、27日、12月4日、11日、18日

キ) 権利擁護支援センター運営委員会、専門委員会の開催

月 日	会議名
6月10日	権利擁護支援センター運営委員会
8月7日、2月3日	権利擁護支援センター専門委員会

ク) 権利擁護支援センターの開催研修

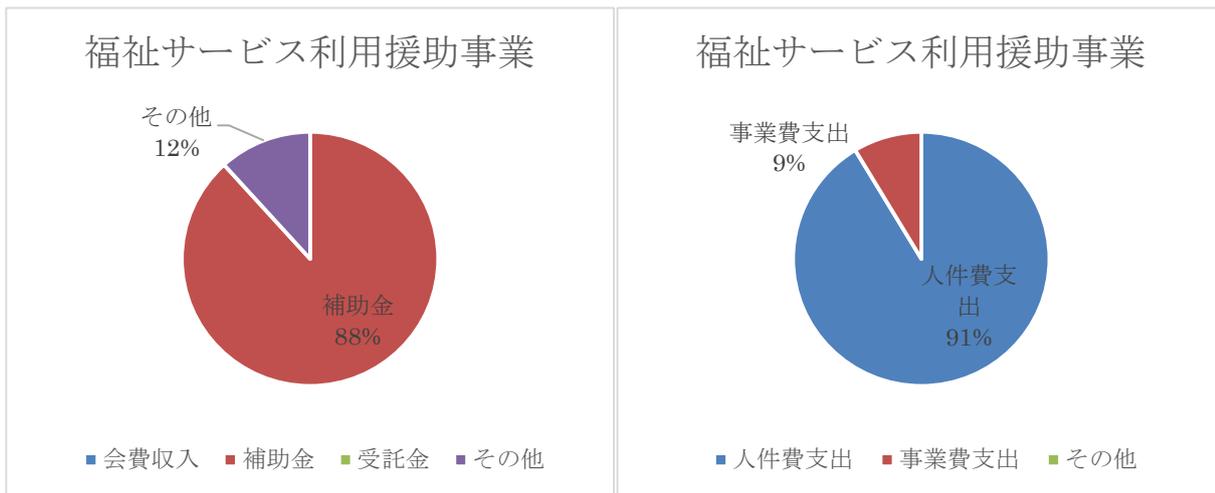
月 日	主な内容	開催場所
6月17日	行政対象 権利擁護研修	市役所
7月3日	障がい者虐待研修「適切な支援」ってどんな支援？	木口記念会館

ケ) 権利擁護支援センターの講師派遣

月 日	主な内容	参加数(人)
7月19日	芦屋市民生児童委員協議会成年後見制度研修	100
9月18日	エルホーム芦屋介護施設従事者向け虐待研修	25

- コ) 法人後見 法人後見受任 3件
 サ) 市民後見 市民後見人選任 1人
 シ) 後見監督 後見監督受任 1件

○福祉サービス利用援助事業（受託事業）



ア) 契約件数

契約件数	38件
新規契約	6件
解約件数	8件

イ) 相談対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
対応件数	338	287	335	414	378	362	406	354	410	387	370	389	4430

ウ) 職員による訪問

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
訪問件数	49	40	45	52	51	36	38	42	44	45	37	43	522

工) 生活支援員(12名)派遣回数 1,877回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(回)
派遣回数	162	148	149	157	157	149	166	154	158	148	158	171	1,877

才) 利用契約者に関するケース会議 16回

力) 関係機関との連絡調整 随時

キ) 生活支援員交流会 2月27日(木) 出席者3人

○財産保全サービス事業

契約件数	8件
新規契約	1件
解約件数	1件

○福祉サービスに関する苦情対応

規程に基づき、苦情受付担当者、苦情受付担当者、苦情解決責任者を選任
中立性、客観性の確保のため、第三者委員を設置

6 介護保険事業

○地域包括支援センター

(1) 相談対応状況

開所日数	244日
相談対応日数	259日
相談実人数	2,020人
相談延人数	4,545人

(2) 対象者内訳（延件数）

	新規	継続	合計
未認定	328	1,541	1,869
事業対象者	1	623	624
認定	73	1,979	2,052
合計	402	4,143	4,545

(3) 対応方法内訳（延件数）

		新規	継続	合計
センター内	電話	271	2,388	2,659
	来所	117	259	376
	その他	8	65	73
センター外	訪問	6	1,294	1,300
	会議	0	92	92
	その他	0	45	45

(4) 高齢者虐待対応（延件数）

通報（新規実件数）		15
対応内訳	事実確認	44
	支援・対応・連絡調整等	234
	通報共有ミーティング	13
	コアメンバー会議	13
	虐待対応個別ケース会議	9
	終結・終了会議	4
合計		317

(5) 個々の介護支援専門員へのサポート

相談実人数 (CM 人数)	16	
相談延件数	18	
内訳	社会資源の情報提供	2
	援助関係について	13
	同行訪問	0
	ケアプラン作成支援	3
	サービス担当者会議出席	0
	その他	0

(6) 個別ケアミーティング開催

	包括ケース	CM ケース
個別ケアミーティング	0	0

(7) ネットワークづくり (個別支援を除く)

	会議	行事	啓発等
フォーマル	97	1	8
インフォーマル	3	0	1
合計	100	1	9

(8) 介護予防教室

参加人数	50	延参加人数	224	教室開催回数	26
------	----	-------	-----	--------	----

(9) 相談対応・連絡調整等の対象者や機関

	新規	継続
本人	69	2,035
家族	183	1,238
医療機関	45	454
民生委員・福祉推進委員	14	46
地域団体等(自治会・老人会等)	0	0
関係機関・行政	25	305
関係機関・行政以外	16	156
介護支援専門員 (他包括・施設 c m 含む)	31	373
サービス提供事業所職員	5	531
近隣・知人 (家政婦含)	6	46
権利擁護関係機関	0	108
地域みまもりネット登録事業者	0	3
その他	2	5
合計	396	5,300

(10)相談対応・連絡調整等内容

	新規	継続
介護保険に関すること	326	2,317
総合事業に関すること（チェックリスト実施を含む）	8	621
一般（高齢者）施策に関すること	17	39
地域資源に関すること	16	101
障がい者福祉制度・サービス等に関すること	1	8
一般介護予防事業に関すること	1	9
健康（保健・医療）に関すること	55	982
施設（入所）に関すること	11	108
認知症に関すること	27	214
経済に関すること	3	75
高齢者以外の人に関すること	2	28
複合支援（世帯内で複数の問題を抱えるもの）	1	43
権利擁護支援に関すること	2	75
苦情相談	0	3
安否確認	2	15
状況確認	8	76
実態把握	3	115
直接的支援（やむを得ない通院介助等）	0	67
その他	1	1
合計	484	4,897

○訪問介護事業

総計	合計	対前年度比較	
利用者数	2,134	2,048	104.2%
派遣回数	20,495	19,413	105.6%
派遣時間数	23,115.7	22,584.5	102.4%
新規ケース	59	60	98.3%
収入（千円）	79,351	73,544	107.9%
①介護保険訪問介護、総合事業訪問型サービス	合計	対前年度比較	
利用者数	1,725	1,662	103.8%
派遣回数	15,598	15,059	103.6%
派遣時間数	15,987.3	16,070.8	99.5%
新規ケース	51	47	108.5%
収入（千円）	58,775	56,152	104.7%
②障害福祉サービス居宅介護、重度訪問介護、同行援護	合計	対前年度比較	
利用者数	290	286	101.4%
派遣回数	3,798	3,223	117.8%
派遣時間数	5,980.0	5,299.3	112.8%
新規ケース	2	3	66.7%
収入（千円）	18,216	14,817	122.9%
③芦屋市受託事業（移動支援、高齢者見守り、母子父子ヘルプ、育児支援等）	合計	対前年度比較	
利用者数	60	30	200.0%
派遣回数	152	49	310.2%
派遣時間数	351.4	117.0	300.3%
新規ケース	1	1	0.0%
収入（千円）	873	309	282.5%
④独自事業（有償ヘルプサービス）	合計	対前年度比較	
利用者数	245	261	93.9%
派遣回数	947	1082	87.5%
派遣時間数	797.0	1097.5	72.6%
新規ケース	5	9	55.6%
収入（千円）	1,487	2,266	65.6%

○独自事業登録状況

	合計	対前年度比較	
利用登録者数	141	189	74.6%

○訪問看護事業

総計	合計	対前年度比較	
利用者数	1,355	1,290	105.0%
派遣回数	7,791	7,061	110.3%
派遣時間数	5,902.5	5,660.3	104.3%
新規ケース	82	62	132.3%
収入（千円）	61,948	57,969	106.9%
①介護保険訪問看護	合計	対前年度比較	
利用者数	968	927	104.4%
派遣回数	4,679	4,141	113.0%
派遣時間数	3,264.8	3,041.4	107.3%
新規ケース	41	45	91.1%
収入（千円）	34,634	31,508	109.9%
②医療保険訪問看護	合計	対前年度比較	
利用者数	375	363	103.3%
派遣回数	2,955	2,920	101.2%
派遣時間数	2,559.2	2,618.9	97.7%
新規ケース	40	46	87.0%
収入（千円）	26,427	26,461	99.9%
③芦屋市受託事業（医療的ケア児）	合計	対前年度比較	
利用者数	13	0	
派遣回数	158	0	
派遣時間数	79.0	0.0	
新規ケース	2	0	
収入（千円）	894	0	

○居宅介護支援事業

	合計	対前年度比較	
予防給付	396	317	124.9%
要介護1	1,267	1,174	107.9%
要介護2	622	517	120.3%
要介護3	319	298	107.0%
要介護4	248	206	120.4%
要介護5	259	278	93.2%
合計	3,111	2,790	111.5%
収入（千円）	49,050	44,370	110.5%

○通所介護事業

総計	合計	対前年度比較	
開設日数	308	304	101.3%
利用者数	6,069	6,355	95.5%
延利用者数	760	788	96.4%
1日平均利用者数	19.70	20.9	94.3%
収入(千円)	49,104	51,955	94.5%
①介護保険通所介護	合計	対前年度比較	
利用者	5,155	5,264	97.9%
延数	594	579	102.6%
利用者	16.74	17.32	96.7%
収入(千円)	43,821	45,719	95.8%
②総合事業通所型サービス	合計	対前年度比較	
利用者	914	1,091	83.8%
延数	166	209	79.4%
利用者	3.0	3.59	82.7%
収入(千円)	5,283	6,236	84.7%

○介護予防支援、介護予防ケアマネジメント

総計	合計	対前年度比較	
介護予防支援	3,301	3,173	104.0%
ケアマネジメントA	1,837	2,027	90.6%
ケアマネジメントB	535	578	92.6%
合計	5,673	5,778	98.2%
収入(千円)	21,216	21,604	98.2%
地域包括支援センター直営	合計	対前年度比較	
介護予防支援	2,400	2,226	107.8%
ケアマネジメントA	1,390	1,564	88.9%
ケアマネジメントB	494	555	89.0%
合計	4,284	4,345	98.6%
居宅介護支援事業所委託	合計	対前年度比較	
介護予防支援	901	947	95.1%
ケアマネジメントA	447	463	96.5%
ケアマネジメントB	41	23	178.3%
合計	1,389	1,433	96.9%

○要介護認定調査、障害支援区分認定調査

	合計	対前年度比較	
要介護認定調査	339	876	38.0%
障害区分調査	6	22	27.3%
合計	345	898	38.4%

○高齢者住宅等安心確保事業（L S A）

総計	合計	対前年度比較	
実施日数	366	365	100.2%
安否確認訪問	5,197	6,278	82.8%
緊急通報作動	32	53	60.4%
相談	702	608	115.5%
関係機関連絡調整	429	598	71.7%
一時的な生活支援	766	864	88.7%

○紙おむつ給付・宅配サービス

	合計	対前年度比較	
新規登録数	27	24	112.5%
延登録者数	1,082	1,167	92.7%
廃止数	28	81	34.6%
合計	1,137	1,272	89.4%

7 法人運営

○理事会開催状況（理事定数 13人）

月 日	場 所	内 容	出席人数（人）
4月1日 (第1回)	福祉センター	・常務理事の選定について	理事13名 監事1名 事務局4名
6月4日 (第2回)	福祉センター	・平成30年度資金収支補正予算(第1次)について ・福祉推進委員設置要綱の一部を改正する要綱の制定について ・平成30年度事業報告の承認について ・平成30年度計算書類及び財産目録の承認について ・評議員選任候補者の推薦について ・令和元年度定時評議員会の招集について	理事13名 監事1名 事務局4名
6月24日 (第3回)	福祉センター	・会長の選定について ・副会長の選定について ・常務理事の選定について ・部会の設置並びに構成について	理事13名 監事1名 事務局4名
11月28日 (第4回)	福祉センター	・芦屋ハートフル訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について ・芦屋ハートフル訪問介護事業所運営規程（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）の一部を改正する規程の制定について ・芦屋市訪問看護ステーション運営規程の一部を改正する規程の制定について ・芦屋市立三条デイサービスセンター運営規程の一部を改正する規程の制定について ・芦屋ハートフル訪問介護事業所運営規程（移動支援）の制定について ・臨時職員就業規程の一部を改正する規程の制定について ・指定一般相談支援事業運営規程の一部を改正する規程の制定について ・指定障害児相談支援事業運営規程の一部を改正する規程の制定について ・指定特定相談支援事業運営規程の一部を改正する規程の制定について	理事11名 監事2名 事務局5名
3月19日 (第5回)		・社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会 令和元年度資金収支補正予算（第1次）の承認について ・社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会 令和2年度資金収支予算の承認について ・社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会 令和2年度事業計画の承認について	書面決議

○評議員会開催状況（評議員定数 24人）

月 日	場 所	内 容	出席人数（人）
6月24日 (定時評議員会)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸規程の整備について ・ 平成30年度資金収支補正予算(第1次)について ・ 平成30年度事業報告の承認について ・ 平成30年度計算書類及び財産目録の承認について ・ 新役員の選任について 	評議員19名 会長副会長3名 常務2名監事1名 事務局4名
3月30日		<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会 令和元年度資金収支補正予算（第1次）の承認について ・ 社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会 令和2年度資金収支予算の承認について ・ 社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会 令和2年度事業計画の承認について 	書面決議

○正副会長会

月 日	場 所	内 容	出席人数（人）
5月27日	福祉センター	第2回・第3回理事会開催について	9
11月21日	福祉センター	第4回理事会の開催について	9
1月31日	福祉センター	職員の採用について	7
3月9日	福祉センター	第5回理事会の開催について	中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○評議員選任・解任委員会

月 日	場 所	内 容	出席人数（人）
4月1日	福祉センター	評議員の選任について	委員4名 会長1名常務2名 事務局1名
6月4日	福祉センター	評議員の選任について	委員4名 会長1名常務2名 事務局1名

○監査

月 日	場 所	内 容	出席人数（人）
5月22日	福祉センター	平成30年度法人運営・事業及び会計執行状況の監査	会長1名 常務2名監事2名 事務局4名
11月19日	福祉センター	令和元年度中間監査	会長1名 常務2名監事2名 事務局5名

○部会・委員会の開催状況

ア) 総務部会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
6月4日	福祉センター	職員就業規則の一部を改正する規則の制定 特別嘱託職員就業規程の一部を改正する規程の制定 嘱託職員就業規程の一部を改正する規程の制定 臨時職員就業規程の一部を改正する規程の制定	9名
2月27日	分庁舎	事務局規程の一部を改正する規程の制定 職員就業規則の一部を改正する規則の制定 嘱託職員就業規程の一部を改正する規程の制定 臨時職員就業規程の一部を改正する規程の制定 職員給与規程の一部を改正する規程の制定 経理規程の一部を改正する規程の制定	8名

イ) 事業部会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
5月20日	福祉センター	・令和元年度事業について ・福祉推進委員設置要綱の一部を改正する要綱の制定について	10
11月11日	福祉センター	歳末たすけあい事業配分について	11
2月4日	福祉センター	令和2年度事業計画について 会長感謝状贈呈対象者について	11

ウ) 編集検討委員会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
5月29日	福祉センター	・社協だより154号の振り返り ・社協だより155号の原稿内容について ・社協だより156号の記事内容について	5
8月22日	福祉センター	・社協だより155号の振り返り ・社協だより156号の原稿内容について ・社協だより157号の記事内容について	5
12月5日	木口記念会館	・社協だより156号の振り返り ・社協だより157号の原稿内容について ・社協だより158号の記事内容について	4
3月6日	福祉センター	・社協だより157号の振り返り ・社協だより158号の原稿内容について ・社協だより159号の記事内容について	中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

工) 衛生委員会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
4月16日	分庁舎	年次有給休暇取得の義務化について	12
5月24日	福祉センター	交通安全の心構えについて	8
6月28日	福祉センター	熱中症対策について	11
7月19日	分庁舎	災害への備えについて	12
8月22日	福祉センター	災害時のマニュアルについて	11
9月24日	分庁舎	年次有給休暇の取得状況について	9
10月24日	福祉センター	道路交通法の改正について	10
11月22日	分庁舎	インフルエンザ予防の助成制度導入について	11
12月23日	福祉センター	事業主のハラスメント対策義務について	12
1月28日	分庁舎	年次有給休暇の取得状況と取得計画再提出について	12
2月20日	福祉センター	感染症対策について	12
3月19日	福祉センター	新型コロナ対策について (対策委員会、BCP)	13

○第7次地域福祉推進計画評価委員会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
2月17日	福祉センター	第7次地域福祉推進計画の評価について	13

○事業統合後の協議等

月 日	内 容
4月10日 6月21日 9月4日	障がい者相談支援事業業務統合について
10月16日 28日	総務係・事業管理系の業務整理について
10月18日	介護保険事業に係る視察等 三田市社会福祉協議会
9月26日 10月21日	兵庫県社会福祉協議会主催 「地域福祉・介護サービス事業経営調査研究事業」参加
2月13日	介護保険事業に係る視察等 宝塚市社会福祉協議会

○県社協等の主催する会議への出席

月 日	場 所	名 称	内 容
4月26日	猪名川町	第1回阪神7市1町社会福祉協議会 会長・理事長会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県社協からの情報提供 ・ 2020年度兵庫県社会福祉政策の提言について ・ 各市町社協からの情報提供依頼事項について
5月14日	兵庫県 福祉センター	第1回県内社協事務局長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉を巡る情勢動向と令和元年度重点事業 ・ 社協の組織経営の現状・課題
7月26日	兵庫県 農業会館	第2回県内社協事務局長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域共生社会の実現に向けた地域福祉の方向性 ・ 包括的な支援体制と地域福祉計画づくり
7月27日	兵庫県 福祉センター	トップマネジメントセミナー (県内社協会長会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域共生社会の実現に向けた社協の役割
10月31日	丹波篠山市	第68回兵庫県社会福祉大会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記念講演 「ともしつながり 支え合う」
11月8日	兵庫県 福祉センター	第3回県内社協事務局長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域共生社会を担う福祉人材確保の方策と今後の展開 ・ 地域共生社会を担う福祉人材確保・定着・育成に向けた取組みの展望
11月29日	兵庫県 福祉センター	社会福祉情勢セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域共生社会に向けた政策課題と今後の方向性
12月25日	兵庫県 福祉センター	介護・障害サービス事業経営 セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社協の介護サービス事業経営を巡る課題認識と今日的意義について
2月21日	兵庫県 福祉センター	第5回県内社協事務局長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社協を取り巻く情勢動向と県社協事業方針 ・ 社会風刺政策提言の回答結果と令和2年度市町社協関連事業について ・ 地域共生社会の推進に向けたこれからの福祉政策

○職員研修

ア) 総務係

月 日	場 所	名 称	内 容
4月22日	兵庫県 福祉センター	新任局長研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉の動向と地域福祉 ・ 社協経営の視点と事務局長の役割
6月～11月	兵庫県 福祉センター	会計実務基礎講座 (通信課程)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の会計実務に必要な簿記の基礎知識 ・ 社会福祉法人会計の仕分け
8月23日～ 25日	ロフォス湘南	市区町村社会福祉協議会 管理職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職員としての問題意識の明確化 ・ 組織運営管理と課題分析、課題形成と目標設定

イ) 地域福祉係

月 日	場 所	名 称	内 容
6月3日 6月27日	人材研修 センター	チーム・マネジメントリーダー 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・求められるリーダーシップとは ・職場の課題にいかに向き合い対処するか ・チームメンバー育成に必要な基本的考え方
7月29日	県民会館	生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーター 基礎セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・わがまちにおける地域づくりを実現するために、私たちが果たす役割 ・生活支援コーディネーターの実際の取り組み
8月6日	人材研修 センター	地域福祉推進計画セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会の実現に向けた社協活動指針を活用した計画の見直し、策定について
8月～10月 全4回	人材研修 センター	地域福祉研修	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の全体像をつかむ ・住民主体の地域づくりを支える ・ネットワークと社会資源開発
9月11日	伊丹市	伊丹市社会福祉協議会視察	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉実践の理念と使命について ・地域支援に係る業務内容について
9月～1月 全4回	人材研修 センター	地域福祉専門ゼミナール	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉実践の理念と分析視点 ・地域診断とプロセスチャート、インシデント事例検討」、小地域福祉活動とコミュニティワーク ・ネットワーキングと資源開発、コミュニティワークプロセス事例検討、システム検討の進め方 ・地域ケアシステムと総合相談、システム検討
8月19日 9月12日	姫路じばさんびる 兵庫県福祉センター	防災対応力向上研修	<ul style="list-style-type: none"> ・災害と防災リテラシーについて ・避難のための個別支援計画作成について ・個別支援計画作成の調整会議模擬体験
1月10日	兵庫県 福祉センター	社協ワーカー実践研究会議	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり・市民活動支援の“見える化”を考える
2月25日	県民会館	生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーター フォローアップセミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者主体の課題分析・解決を促す手法（メタファシリテーション）について

ウ) 生活困窮者自立相談支援事業

月 日	場 所	名 称
6月27日	県弁護士会館	生活困窮者自立相談支援事業に関する研修会
7月29日～ 31日 8月21日～ 23日	灘尾ホール ロフォス湘南	生活困窮者自立支援制度従事者養成研修 ・主任相談支援員研修
8月1日	県私学会館	生活困窮者自立支援制度兵庫県人材育成研修
9月20日	県こころのケアセンター	ギャンブル依存症研修
11月27日	神戸クリスタルホール	2019年度法テラス地方協議会
11月27日	大阪府男女共同参画 ・青少年センター	2019年度ひきこもり問題の理解促進と支援力向上のための研修会
2月13日	県私学会館	第2回生活困窮者自立支援制度兵庫県人材育成研修

エ) 基幹相談支援センター

月 日	場 所	主 な 内 容
5月20日	福祉センター	支援者向けペアトレーニング研修
5月28日	市役所	市民税・国民健康保険・減免制度研修会
6月4日	木口記念会館	発達に困難のある子どもが思春期を迎えるとき
6月4日	ひょうご発達障害 者支援センター	発達障害のある方の相談支援にあたる支援者研修会
6月18日	兵庫県 福祉センター	福祉専門職対象防災対応力向上研修
6月28日	エルおおさか	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について
7月24日	市役所	人権文化県民運動推進事業人権講座
8月1日～	福祉のまちづくり 研究所	相談支援従事者初任者研修
8月26日	姫路市総合福 祉会館	兵庫県相談支援専門コース別研修
9月19日	神戸法務総合 庁舎	兵庫県地域処遇ネットワーク連絡会

オ) 障がい者相談支援事業所（一般相談）

月 日	場 所	主 な 内 容
5月20日	福祉センター	支援者向けペアトレーニング研修
5月28日	市役所	市民税・国民健康保険・減免制度研修会
6月4日	ひょうご発達障害者支援センター	発達障害のある方の相談支援にあたる支援者研修会
8月1日～	福祉のまちづくり研究所	相談支援従事者初任者研修

カ) 障がい者相談支援事業所（計画相談）

月 日	場 所	主 な 内 容
5月20日	福祉センター	支援者向けペアトレーニング研修
5月28日	市役所	市民税・国民健康保険・減免制度研修会
6月4日	木口記念会館	発達に困難のある子どもが思春期を迎えるとき
6月4日	ひょうご発達障害者支援センター	発達障害のある方の相談支援にあたる支援者研修会
6月18日	兵庫県福祉センター	福祉専門職対象防災対応力向上研修
7月24日	市役所	人権文化県民運動推進事業人権講座
8月1日～	福祉のまちづくり研究所	相談支援従事者初任者研修
8月7日～	福祉のまちづくり研究所	相談支援従事者現任研修

キ) 権利擁護支援センター事業

月 日	場 所	名 称
7月24日	市役所	障がいのある人の差別解消に関する取組について
8月30日	弁護士会館	近弁連 高齢者・障害者の権利に関する連絡協議会
9月7日	東邦大学	高齢者虐待防止学会

ク) 生活福祉資金貸付事業

月 日	場 所	名 称	内 容
5月15日	兵庫県福祉センター	令和元年度 生活福祉資金新任担当者研修会	・生活福祉資金制度の沿革と制度を取り巻く現状について
7月31日	兵庫県福祉センター	令和元年度生活福祉資金フォローアップ研修会	・生活福祉資金貸付事業の現状と課題
3月23日	兵庫県福祉センター	生活福祉資金貸付事業担当者会議	・緊急小口資金、総合支援資金コロナ特例貸付について

ケ) 日常生活自立支援事業

月 日	場 所	名 称	内 容
7月5日	兵庫県 福祉センター	専門員会議	・ 本事業を取り巻く情勢について 他
8月21日	兵庫県 福祉センター	専門員・担当者研修	・ 兵庫県における日常生活自立支援事業20年のあゆみ ・ 日常生活自立支援事業の原点を振り返る
10月24日	兵庫県 福祉センター	生活支援員研修	・ 精神障害者の疾患と生活のしづらさを理解する
2月5日	兵庫県 福祉センター	専門員会議	・ 実施状況について ・ 今後の方向性について ・ 留意事項について

○市関係会議への出席

ア) 役員出席

- ・ 芦屋市社会福祉審議会
- ・ 芦屋市地域福祉推進協議会
- ・ 芦屋市民生委員推薦会
- ・ 芦屋市すこやか長寿プラン21策定委員会
- ・ 芦屋市すこやか長寿プラン21評価委員会
- ・ 芦屋市地域包括支援センター運営協議会
- ・ 芦屋市地域密着型サービス運営協議会
- ・ 芦屋市障害計画策定委員会
- ・ 芦屋市自立支援協議会
- ・ 芦屋市権利擁護支援システム推進委員会
- ・ 芦屋市人権教育推進協議会
- ・ 芦屋市生活安全推進連絡会
- ・ 芦屋市子ども・子育て会議
- ・ “社会を明るくする運動”芦屋市推進委員会
- ・ 芦屋市要保護児童対策地域協議会 代表者会

イ) 事務局出席

- ・ 芦屋市地域福祉計画推進評価委員会
- ・ 芦屋市地域福祉推進協議会
- ・ 芦屋市市民参画協働推進会議
- ・ 生活困窮者自立支援推進協議会
- ・ 芦屋市障がい者差別解消支援地域協議会
- ・ 芦屋市要保護児童対策地域協議会 実務者会
- ・ 芦屋市消費者教育推進地域協議会

○その他関係会議への出席

- ・ 芦屋市民生児童委員協議会
- ・ 芦屋さくらまつり協議会
- ・ 芦屋市介護サービス事業者連絡会
- ・ 芦屋市障がい相談支援事業管理者会議
- ・ 芦屋市戦没者追悼式
- ・ 芦屋市菊寿会
- ・ 芦屋市敬老会
- ・ 芦屋市高齢者スポーツ大会
- ・ 第11回子どもフェスティバル
- ・ 第29回芦屋市障がい児・者とのふれあい市民運動会
- ・ 芦屋市立みどり地域生活支援センター運営協議会
- ・ 地域精神保健福祉連絡会議
- ・ 県立芦屋特別支援学校評議員会
- ・ 芦屋市民まつり協議会（芦屋さくらまつりへの協賛、あしや秋まつりへの協賛）

○社会福祉法人の社会貢献事業や公益的事業の推進

月 日	場 所	名 称	内 容
1月15日	兵庫県 福祉センター	地域サポート施設募集要項説明会	・ 事業説明、意見交換 他
1月31日	あしや喜楽苑	地域サポート施設意見交換会	・ 地域サポート施設認定・更新に伴う意見交換会

○情報発信の充実



事業名	内 容
社協だよりの発行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社協だより編集委員会（社協理事、地区福祉委員会代表で構成）を開催し記事等内容の検討を行い、4月・7月・10月・1月の4回発行。 ・ 地域の実情の把握のため、地区福祉委員会や自治会等の協力によりポスティングによる全戸配布を行った。43,863部（7月号部数）
ホームページの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員募集情報、その他事業活動の状況など情報発信に努めた。

○会員会費制のPR

種 別	1口金額（円）	会員数	会費金額（円）
普通会員	1,000	364	412,000
団体会員	3,000	61	218,000
賛助会員	1,000	7	11,000
特別会員	5口以上及び団体会員は1万円以上	31	313,000
合 計		463	954,000

○寄附金受入

月日	金額	氏名(敬称略)
4月11日	10,000	ニットカフェ
4月17日	10,000	福祉サークル
4月24日	5,000	楠なお子
5月14日	100,000	三上 邦江
5月15日	6,699	石田 英昭
5月16日	2,000	河合 依三香
7月9日	10,000	K.N
7月27日	680	たわしの輪
8月8日	6,000	あしやおもちゃ工場
9月11日	2,000	三上
9月26日	3,210	アトリエラフラフ
11月13日	10,000	猿丸 宏子
1月24日	1,000,000	岩崎 聡
2月28日	28,091,297	芦屋ハートフル福祉公社
3月6日	10,000	コープデイズ芦屋福祉サークル
合計	29,266,886	

○寄附物品等

器具及び備品等 (AED)	185,625 円
---------------	-----------

8 共同募金運動



○共同募金運動の実施協力（令和元年10月1日～12月31日）

10月1日街頭募金へ社協理事 9名 参加

○共同募金実績（未定）

（単位：円）

		一般募金	歳末たすけあい募金	合 計
目 標 額		9,600,000	1,500,000	11,100,000
実 績 額		7,626,885	987,351	8,453,339
内 訳	戸 別 募 金	4,931,433	794,486	5,725,919
	法 人 募 金	1,469,508	176,100	1,645,608
	街 頭 募 金	231,091	0	231,091
	学 校 募 金	418,659	0	418,659
	職 域 募 金	347,170	13,763	360,933
	イ ベ ン ト 募 金	18,600	0	18,600
	個 人 募 金	103,900	3,000	106,900
	そ の 他	106,524	2	106,526
前 年 度 繰 越 金	0	117,939	117,939	

うちバッジ募金35,340円

○共同募金運動期間延長の取り組み（令和2年1月1日～3月31日）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため募金活動の中止

（ストップ・ザ・無縁社会地域フォーラムにおいて予定）

○義援金の募集

佐賀県豪雨災害義援金	3,881円
台風第19号災害義援金	104,332円
東北大震災義援金	80,400円

○歳末たすけあい運動

配分金額内訳

経済的支援世帯	710,000円	21世帯
高齢者福祉施設団体等支援	186,200円	1団体、7施設、71名
障がい者福祉施設団体等支援	338,057円	4団体、5施設、140名
児童福祉施設団体等支援	90,000円	6施設
ひとり親家庭支援	8,227円	10名
社会福祉活動団体等支援	20,000円	1団体
合 計	1,352,484円	